

年月日		摘要		受ノ		
年	月	事	價	高	入	産
四	一	前年度ヨリ越高	3,000	100		
	二	何某渡				
	四	何々ヨリ生産	1,500			50
		買入 何某納	3,500		100	
	六	何某外何人渡				
	十	賣却 買受人何某				
		何々生産ノ爲消費				
		亡失				

々 (品名)							残
部		拂ノ			部		
返納	何々	消耗	生産ノ爲消費	賣却	亡失毀損	何々	
							100
		10					90
							240
		50					160
			50	10			
					10		165

第一號乙

明治何年度

何々費所屬

消耗品出納簿

備考

- 一 本簿ハ品名限リ口坐ヲ設クヘシ
- 一 代價ハ買入原價ヲ記入シ拂ニ戻スルモノ、代價ハ記入ヲ要セ
- 一 試作原料及其成製品、工事材料品ハ本簿式ニ準スヘシ

何處廠

第一號甲

明治何年度

何々費所屬

備品出納簿

備考

- 一 本簿ハ品名限リ口坐ヲ設クヘシ
- 一 本簿及乙帳帳簿ヲ和紙ヲ以テ調製スルトキハ日本數字ヲ用フ
- 一 代價ハ買入原價ヲ記入シ保管換、喪却、亡失毀損、拂ノトキハ其原價ヲ朱記扣除スルモノトス但本則賣座ノ際在來品ニシテ原價ノ分明ナラサルモノハ見積價格ヲ記入スヘシ
- 一 被服、動物ハ本書式ニ準スヘシ但被服ノ年別ヲ定メテ貸與スルモノハ拂ノ部ニ管轄換ノ次ニ給與拂ノ區畫ヲ設ケ又服種ヲ被服ニ裁縫スル類ハ受拂トモ生産ノ區畫及給與拂ノ返納アリタルトキハ受ノ部ニ返納ノ區畫ヲ設ケ記入スヘシ

何廳廢

本書式中△印アルモノハ朱記スルモノトス

第二號甲

何々費所屬

備品請求簿

備考

- 一 本簿ハ一年度限調製スルモ數年度繼續使用スルモ適宜タルヘシ
- 一 本簿ヨリ出納簿及供用簿ニ轉記シ上部欄外ニ記帳済ノ印ヲ捺スヘシ
- 一 本簿ハ每發合冊口坐ヲ設ケ區別スルモ妨ケナシ
- 一 被服、動物ハ本書式ニ準スヘシ

廳廢名

認出納 印定	認主 印定	請求 月日	品 名	個 數	摘 要	請求者 氏名印
○	○	四月二日	革張椅子	一脚	專用	何某○
○	○	全	テーパー	一脚	全	全人○
○	○	四月三日	書箱	一個	全	何某○
○	○	四月五日	布張椅子	三脚	何々用	物品取扱主任 何某○
○	○	全	長テーパー	一脚	全	全人○

第二號乙

何々費所屬
消耗品請求簿

備考

一 本簿ハ一年度限製シ各品口座ヲ設ケ記入シ年計ヲ彙記スヘシ
 一 本簿ヨリ出納簿ニ轉記シ上部欄外ニ記帳簿ノ印ヲ捺スヘシ
 一 本簿ハ毎月所屬合冊口座ヲ設ケ區別スルモ妨ケナシ
 一 試作原料及其成製品ニ工程材料品ハ本簿式ニ準スヘシ

廳 廠 名

記帳濟

紙 罎 行 三 十 紙 半

出納印	主査印	請求月日	員數	使用目的	請求者氏名印	交付月日	受領證印
○	○	四月三日	五	何々用	何某 ○	四月三日	○
○	○	四月三日	十	何々用	何某 ○	四月三日	○
○	○	四月五日	八	何帳調製用	何某 ○	四月六日	○

第二號丙

何々費所屬物品
生產素品請求簿

備考

- 一 本簿ハ一年度限調製スヘシ
- 一 本簿ヨリ出納簿ニ轉記シ上部欄外ニ記帳濟ノ印ヲ捺スヘシ
- 一 素品交付ノ際直ニ受頁者ニ交付スルトキハ受取證印欄内ニ印ヲ捺シメス別紙ニ受取證印ヲ捺スヘシ
- 一 生産納付アリタルトキハ本簿ニ生産月日ヲ記入スヘシ

何 應 廠

出納吏 認印	主任 認印	請求月日	品名	員數	生産目的	請求者 認印	受領者氏名	受領 認印	交付月日	生産月日
○	○	四月二日	白半紙	五十張	郵紙摺立	○	何某	○	四月二日	四月十日
○	○	全三日	立米	十石	精米	○	何某	○	全三日	
○	○	全五日	羅紗	三丈	巡查被服	○	何某		全五日	

第三號

備考

一 本簿ハ一ケ年度限調製スルモ數年度繼續使用スルモ適宜ナル
 ハシ
 一 本簿ヨリ出納簿及供用簿ニ轉記シ配帳簿ノ印ヲ捺スヘシ
 一 本簿ハ毎費所屬合册口座ヲ設ケ區別スルモ妨ケナシ
 一 被服動物ハ本書式ニ準スヘシ
 一 消耗品試作原料及ル成製品工率材料品ハ本書式ニ準シ一年度
 限リ調製スヘシ

何々費所屬

備品返納簿

廳 廠 名

記帳簿

認出納印	主査認印	返納月日	品名	番號及數	返納事由	返納者氏名印
○	○	四月十日	布張椅子	三號 一脚	不用	何某○ <small>物品取扱主任</small>
○	○	全十五日	テール	五號 一脚	損毀	何某○

百九十二

第四號

備考

- 一 本簿ハ數年度繼續使用シ之レテ新帳スルトキハ其現在ヲ轉記シテ新帳ヲ消印シ更ニ新帳ニ記印セシムルモノトス
- 一 本簿ハ保管者ハ別限口座ヲ設ケ一個一筆ニ記載スヘシ
- 一 遺漏ノ地ニアルモノニシテ本簿ニ記印セシメ難キモノハ受領印ノ欄ニ記載第何號ト記シ受領證書ノ番號ト照合ヲ便ニスヘシ
- 一 本簿ハ請求簿又ハ請求書ヨリ轉記シ返納ノトキハ返納簿又ハ返納書ヨリ轉記スヘシ
- 一 本簿ハ毎段所屬合冊口座ヲ設ケ區別スルモ妨ケナン
- 一 被服動物ハ本書式ニ準スヘシ

何々費所屬
備品供用簿

廳 庫 名

百九十三

交付月日	品名	番號	受領者印	返納月日	返納事由	主査印
四月五日	布張椅子	一號	○			
全	全	二號	○			
全	全	三號	○	四月十日	不用返納	○
全	長テーブル	一號	○			

物品取扱主任 何 某

第五號

備考

- 一 本書ハ種別毎各別ニ調製スヘシ
- 一 物品出納更此請求書ニ依リ物品ヲ送付スルトキハ便宜左ノ付箋ヲナシ請求者ニ送付スルモ妨ケナシ
- 「何月何日何便ヲ以テ送付ス」
- 一 請求者ハ物品受領ノ上直ニ奥書領收證印ヲ爲シ返送スヘシ
- 一 物品出納更返送ヲ受ケタルトキハ領收證綴ニ編纂スヘシ
- 但備品ノ受領證書ニハ番號ヲ付シ供用簿ト照合ヲ便ニスヘシ

何々費 屬

備品(消耗品、動物、工事材料品)請求書

一何々
一何々

何 個
何 個

但何々用(何工事使用)ノ分
右請求候也

何所物品取扱主任
又ハ專用者

年月日

官 職 氏 名 印

何部廢物品出納吏

官 職 氏 名 宛

前書物品正ニ領收候也

年月日

右

何 某 印

第六號

備考

- 一 本書ハ種別毎各別ニ調製スヘシ
- 一 保管者ハ物品ヲ送付スルトキ此返納書ニ左ノ付箋ヲナシ物品出納吏ニ送付スヘシ

〔何月何日何便ヲ以テ送付ス〕

一 物品出納吏ハ物品領收ノ上ハ受領證書ヲ製シ送付スヘシ

何々費所屬

備品(消耗品、動物、工事材料品)返納書

一何々

何 個

一何々

何 個

但不用(何々返納ノ由)ニ付返納ノ分
右返納候也

何所物品取扱主任
又ハ專用者

年月日

官 職 氏 名 印

何部廢物品出納吏

官 職 氏 名 印

(第七號甲)

備考

- 一 紙首三行ノ空罫ヲ存シ四行目ヨリ記載スヘシ
- 一 每段所屬別紙ニ調製スヘシ
- 一 被服動物ハ本書式ニ準據スヘシ

明治何年度所々費備品出納計算書 何處麻

品名	元		受	高	仕		拂	高	計	残							
	越	高			買	入					高	保	管	換	計	買	入
計																	

右之通候也

年月日

知事宛

何處麻物品出納吏

官職氏名印

第七號乙

備考

- 一 紙首三行ノ空罫ヲ存シ四行目ヨリ記載スヘシ
- 一 費途ノ所屬別紙ニ調製スヘシ
- 一 試作原料及其成製品工事材料品ハ本書式ニ準據スヘシ

明治何年度所々費消耗品出納計算書

品名	元		受	高	支		拂	高	計	残							
	越	高			買	入					高	保	管	換	計		
計																	

右ノ通候也

年月日

知事宛

何處麻物品出納吏

官職氏名印

月 日	摘	要	番 號	受	高	返 納 高	現 在 高
四月五日	何々用トシテ受取	全	一		一		
	全		二		一		
	全		三				
全 十日	不用ニ付返納		二			一	
							二
							三

備 品 受 拂 簿

(第八號甲)

備 考

- 一 本簿ハ毎年度限り調製スルモ數年度繼續スルモ適宜ナルヘシ
- 一 本簿ハ毎品口坐ヲ股ケ記入スヘシ
- 一 動物ハ本書式ニ準據スヘシ

何 何
課 廳
署 廠

月 日	摘 要	受 高	拂 高	残 高
四月六日	出納更ヨリ受取	二〇狀		
七日	何々用何某渡		一〇	一〇
十日	不用ニ付返納		三	七

二五三

(第八號乙)

消 耗 品 受 拂 簿

備 考

- 一 本簿ハ毎年度限調製スルモ數年度繼續スルモ適宜タルヘシ
- 一 本簿ハ毎品目坐ヲ設テ記載スヘシ
- 一 工事材料品ハ本書式ニ準據スヘシ

何 何

課 廳

署 廳

二五三

(第九號)

備考

- 一 本簿ハ毎年度調製スヘシ
- 一 本簿ハ受拂、郵便發送、電信發送、ノ三坐ニ區別スヘシ
- 一 本簿ハ郵テ切手金額ヲ以テ記入スヘシ

郵便切手受拂簿

月日	摘要	受高	拂高	残高
四月一日	出納取 四貳錢切手 拾五錢切手 端世	一〇、〇〇〇		
	七二百枚			
	七十枚			
	郵便發送ニ使用		六八〇	
	電信使用		二〇八〇	
四月二日				七、二四〇

送 發 信 電

月 日	發 送 先	符 號	音 信 數	電 信 料	領 取 手 續 料	長 引 料	送 送 料
四月一日	何所		三	三五〇	三〇		
	何々	ツツ	二	二五〇			二〇
	何々	マツ	五	五五〇			一八〇
	何々	ウナ	三	七〇〇			
	計			一、八五〇	三〇		二〇〇

送 發 便 郵

月 日	發 送 先	個 數	切 手 金 高	書 留 料
四月一日	何郡役所	一	八〇	六〇
	何郡役所外三郡役所	四	二四〇	
	何村役場外十役場	二	二二〇	
	何縣廳	一	四〇	
	何々々	二	四〇	
	計	一九	六二〇	六〇
四月二日				

何年度何月中郵便切手還拂報告

郵便發送先	貳錢度數	四錢度數	六錢度數	何錢度數	何錢度數	何錢度數	寄留料計
縣廳	二〇	五	三				九〇〇
各麻	三	一					一〇〇
市町村役場	一〇	二					二八〇
管内各所	三						六〇
管外各所	一						二〇
計	三七	八	三				一、三六〇
電信發送先	一音信度數	二音信度數	三音信度數	何音信度數	領收証手数料	及別郵便送料	計
縣廳	二		三		三〇		一、三八〇
各麻							七五〇
何々		一					四三〇
計	二	四	三	三〇	一八〇		二、五六〇

備考

一金拾圓五拾錢 元 受 高
 金五拾錢 前月ヨリ越 高
 但何錢切手 何枚 何錢切手 何枚 本月受 高
 內 金拾圓 但何錢切手 何枚 支 拂 高
 一金參圓九拾八錢 殘 高
 一金六圓五拾貳錢 但何錢切手 何枚 何錢切手 何枚 高
 右報告候也

年月日 主任 官 職 氏 名 印
 物品出納更宛

訓令第十七號

明治二十九年四月二十七日

内務部
警察部
警察署
全分署

明治廿八年四月訓令第三十九號警察支出ニ適用ス中名古屋署ノ項ヲ廢シ左ノ三項ヲ加フ
○和泉町署 金拾五圓以内 ○鍋屋町署 金拾五圓以内 ○門前町署 金拾五圓以内

訓令第十八號

明治二十九年四月二十七日

郡市役所
町村役場

明治廿八年三月訓令第二十三號町村費出納整理順序中左ノ通り改正ス
第七條ニ左ノ一項ヲ加フ

町村長ニ於テ收入役ノ事務ヲ兼掌スル場合ニアツテハ前項支拂命令番號ニ準シ支拂口譯簿ニ番號ヲ附スヘシ

第八條ニ左ノ一項ヲ加テ二項トシ從前ノ二項ヲ三項トス

町村長ニ於テ收入役ノ事務ヲ兼掌スル場合ニアツテハ領收證ノ欄外ニ支拂番號ヲ記入シ認印スヘシ
但一科目ノ支拂ニシテ二葉以上ノ領收證アルキハ證書ニ朱記スヘキ番號ノ下ニ何枚ノ内甲乙丙等ノ符號ヲ併記スルモノトス

帳簿第五項中「本簿ハ町村會ニ於テ豫メ款内流用ノ決議ヲナシタル云々」ノ項ヲ刪除ス

町村費取納簿様式中(注意)事項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

町村長ニ於テ收入役ノ事務ヲ兼掌スル場合ニアツテハ命令文宛名ヲ除クノ外調定月日等總テ本様式ニ準ス

町村費支拂整理簿様式中(注意)事項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

一組合町村若クハ町村内數區ノ設ケアリテ經濟ノ異ナル全一科目ノ支拂二以上アルキハ其命令書ニ
町村名若クハ區名ノ頭字ヲ款ノ上ニ冠シ何(町村名若クハ區名ノ頭字)何(款)何(目)第何號トスヘシ
但町村長ニ於テ收入役ノ事務ヲ兼掌ノ場合モ之ニ準ス

訓令第十九號

明治二十九年四月二十九日

郡市役所
町村役場
尋常師範學校

明治廿三年五月訓令乙第二十號陸軍六週間現役兵取扱手續左ノ通り改正ス

陸軍六週間現役兵取扱手續

第一條 毎年尋常師範學校ヲ卒業スル者ノ人名ハ尋常師範學校長ヨリ其年四月一日原籍地郡市町ニ通報スヘシ

第二條 郡市長ハ前條ノ通報ニ係ル卒業者及前年教職ニ就キタル者ニシテ翌年回トナリタル者ノ壯丁名簿若クハ假決名簿ノ寫ヲ作り之ヲ六週間現役兵名簿トナシ毎年四月五日迄ニ縣廳ニ差出スヘシ
前項名簿進達後入營期日前名簿ニ關スル異動ヲ生シタルトキハ郡市長ハ直チニ縣廳ニ申報スヘシ但
身体検査ニ合格セサルモノハ此限ニアラス

第三條 六週間現役兵ノ身体検査ヲ受クヘキ徴兵署及其日時ハ縣廳ヨリ在職地郡市長ニ告知シ在職地郡市長之ヲ本人ニ達スルモノトス但時宜ニ依リ聯隊區司令官ヨリ直ニ通知アリタル時ハ郡市長ハ其通知ニ依リ本條ノ手續ヲ爲スヘシ

第四條 身体検査ノ成績ハ縣廳ヨリ在職地郡市長ニ告知シ在職地郡市長ハ之ヲ學校管理者及本人ニ達スルモノトス

本籍地郡市長ハ六週間現役兵條例施行細則第八條ノ届出ニ依リ壯丁名簿若クハ假決名簿ヲ整理シ聯隊區徴兵署ニ提出ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 六週間現役兵ハ本人在職ノ小學校所在地ヲ包括スル聯隊區ノ歩兵聯隊ニ編入セラル、モノトス

第六條 疾病其他ノ事故ニ由リ六週間現役兵條例第二條ノ期日ニ入營シ難キ者アルキハ在職地郡市長ハ其事由ヲ取亂シ本人ヨリ書面疾病ナレハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘテ徴シ縣廳ニ申報スヘシ他郡市在職者ナルキハ同時ニ原籍地郡市長ニ通報スヘシ

第七條 服役滿期ノ者歸郷ノ旅費ハ本人在職ノ小學校所在地迄ノ里數ニ應シ一般兵卒同様所屬隊ヨリ支給セラル、モノトス

第八條 服役滿期後滿二十八歳ニ至ルノ間他郡市在職者ニシテ教職ヲ罷メタル者アルキハ在職地郡市長ハ直チニ原籍地郡市長ニ通報スヘシ其更ニ就職シタル場合ニ於テモ亦同シ

第九條 六週間現役兵條例第五條ニ依リ國民軍幹部適任證書ヲ授與セラレタル者アルキハ縣廳ハ之ヲ原籍地郡市長ニ郡長ハ之ヲ町村長ニ告知スルモノトス

郡市町村長ハ前項ノ告知ニ依リ名簿ヲ作り滿四十歳ニ至ルノ間異動アル毎ニ訂正加除シ町村長ハ其都度郡長ニ報告スヘシ

第十條 六週間現役兵條例施行細則第十條ニ依リ國民軍幹部適任證書ヲ返還セシムヘキ者アルキハ市町村長ハ該證書ニ其事由ヲ詳記シタル書面ヲ添ヘ聯隊區司令官町村長ハ郡長ヲ經テニ送附シ其旨縣廳ニ申報スヘシ

第十一條 此手續ヲ履行スル爲メニ必要ナル規程ハ郡市長ニ於テ別ニ定ムルコトヲ得

訓令第二十一號

明治二十九年五月十一日

内務部	警察部	監獄署	郡市役所	警察署	全分署	監獄支署	縣立學校	縣立病院	農事試驗場	水産試驗場	博物館	測候所	驛棧院
-----	-----	-----	------	-----	-----	------	------	------	-------	-------	-----	-----	-----

牛痘種繼所

明治廿七年二月訓令第八號愛知縣會計規則第五十四條甲代價ノ十分ノ七トアルヲ十分ノ八ト改正ス

訓令第二十二號

明治二十九年五月十一日

- 内務部
- 警察部
- 監獄署
- 郡市役所
- 警察署
- 監獄支署
- 縣立學校
- 縣立病院
- 農事試驗場
- 水產試驗場
- 博物館
- 測候所
- 驛棧院
- 牛痘種繼所

明治廿八年十月訓令第八十八號縣ノ經濟ニ屬スル工事受負及物件賣買貸借修繕規程中左ノ通改正追加ス
第十一條 作成ヲ要セス物件買入ノ下借入ノ二字ヲ削ル

第十六條ニ左ノ但書ヲ追加ス

但受負金額五千圓以上ニシテ本條ノ標準ニ依リ難キトキハ其時々知事ノ決裁ヲ經テ其度數ヲ定ムヘシ

附屬書式第十五號別紙之通改ム

(別紙)

第十五號書式

(用紙半紙) 綴代一寸

甲第何號	注文傳票	受負人	納期日	明治何年何月何日	何之誰印
何々	五個	何郡山町村大字何々何番戸	二〇〇〇	一〇〇〇〇	何月何日
何々	五貫目		一〇〇〇	七五〇〇	何月何日
何々	百貫目		一〇〇〇	五〇〇〇	何月何日
何々	五千枚		二〇〇〇	一〇〇〇〇	何月何日
何々	百個		一五〇〇	一五〇〇	何月何日
計				三四〇〇〇	

右納期日限(何處へ)納付スヘシ
明治何年何月何日

廳 府 名 印

廳 府
割 印

受 取 人
割 印

綴代一寸

何年度何々(款)何々(項)何々(目)

明治何年何月何日記帳

何年何月何日發付

何郡市町村大字何々何番戸

品 目	數 量	價 格	代 價	納 期 日	何 之 誰	納 濟 月 日	所 用 目 的
何々々	五個	二〇〇〇	一〇〇〇	明治何年何月何日	何	何月何日	
何々々	五貫目	一五〇〇	七五〇〇	明治何年何月何日	何	何月何日	
何々々	百貫目	一〇〇〇	五〇〇〇	明治何年何月何日	何	何月何日	
何々々	五千枚	二〇〇	一〇〇〇〇	明治何年何月何日	何	何月何日	
何々々	百個	一五〇〇	一五〇〇	明治何年何月何日	何	何月何日	

計

三 四 〇 〇 〇

右代價金何程正ニ領收候也

明治何年何月何日

出納吏官職氏名宛

何 之 誰 印

備 考

○一本傳票ハ購買決裁ノ上發付スル者トス ○二本傳票ヲ發付スルトキハ甲乙號共價格代價ノ欄ニ取扱主任捺印シ尙縣廳ニ於テハ課長各麻ニ於テハ其麻長ノ捺印ヲ受ケ發付スルモノトス ○三本傳票甲號ハ受取人調印ノ上返付セシメ乙號ハ物品納付マテ保管セシムルモノトス ○四受取人乙號傳票ニ添ヘ物品ヲ納付シタルトキハ規程第廿條ニ依リ檢査シ其物品ヲ領收シタルトキニ主任ニ於テ本傳票甲乙號共納濟月日ヲ記入捺印ノ上乙號ハ受取人ニ返付シ代金請求書ニ代用セシムルモノトス ○五乙號所有ノ目的ノ欄ハ主任ニ於テ朱記スルモノトス ○六乙號年度科目記帳年月日ノ欄ハ縣廳各主務課ニ於テ豫算差引簿登記ノトキ記入シ主任捺印スルモノトス ○七廳麻所在地外ニ於テ物品ノ買入修繕ヲ爲シ會計規則ニ依リ送金ヲ要スルトキハ本傳票乙號與書代金領收ノ文音ハ朱捺ヲ以テ抹殺シ取扱主任捺印シ置クモノトス ○八本傳票乙號ハ代金請求書ニ代用シ后又之ヲ領收證書トナスヲ以テ當初該傳票ヲ發付スルトキニ經費各目毎ニ發スルヲ便トス ○九一時ニ數品ヲ注文スルニ際シ注文傳票品目欄内ニ其品名ヲ記載シ得サルトキハ品目ノ欄内ニ何品外何種トシ代價ノ欄ハ其合代金ニ掲記シ適宜ノ場所ヘ別紙品目明細書ノ通ト記載シ各品目ノ數量價格代價ヲ明記シタル品目明細書ヲ添付スヘシ ○十一人ノ債主ニ數葉ノ注文傳票ニ對スル代金ヲ一時ニ仕拂フトキハ其部分ノ傳票ヲ綴綴シ最后ノ傳票與書ニ注文傳票何葉ノ合代金何程正ニ領收候也ト記載セシムルモ妨ケナシ ○十一受取人ヲシテ物品ヲ納付セシムルニ其場所ノ指定ヲ要スルトキハ甲號ノ與書右納期日限ノ下ニ其場所ヲ指定スルモノトス ○十二規程第十七條ニ依リ原價ヲ定メ一ヶ年若クハ數ヶ月間納入ノ契約ヲ爲シ其需用ノ時々注文傳票ヲ發スルモノハ品目欄内品名ノ肩書ニ何年何月契約ノ分ト付記スルヲ要ス

訓令第二十三號

明治二十九年五月十八日

明治二十四年十一月二十八日訓令第五十九號中左ノ通改正ス

- 一 首文、溝渠「ヲ」用惡水路「ニ改メ」等ノ字ノ下ニ「ノ」ノ字ヲ加ヘ使用「ノ」二字及「該地ニ生スル竹木類賣拂代金」ノ十三字ヲ削除ス
- 一 第一項「等」ノ字ヲ削除シ「及」ノ字ノ下ニ「堤塘道路惡用水路土居敷等ニ屬スル」ノ十六字ヲ加フ
- 一 第二項使用「ヲ」事項「ト改正シ及」竹木其他ノ「ノ」五字ヲ削除ス
- 一 第四項「及」ノ字ノ下ニ「堤塘道路用惡水路土居敷等ニ屬スル」ノ十六字ヲ加フ
- 一 首文及各項ノ「地方稅」ヲ「縣稅」ニ改ム

訓令第二十四號

明治二十九年五月二十五日

傳染病患者ヲ避病院ニ收容ノ義ハ左記大綱ノ範圍内ニ於テ土地人民ノ情況ニヨリ處分スヘキ旨其筋ヨリ通牒有之候間自今右趣旨ニ基キ處理スヘシ

虎列刺、赤痢、痘瘡、發疹室扶私、猩紅熱及「ペスト」ノ病毒ハ傳染ノ力モ著シキモノナルヲ以テ該患者ニ限リ總テ避病院又ハ隔離舎ニ送附シ病毒ノ散漫ヲ防クト同時ニ治療ノ完成ヲ期セシムルヲ要ス然レトモ患者ノ居宅廣潤ニシテ患者ヲ容ルヘキ別室アルカ若クハ別棟ノ家屋アリテ隔離法及治療看護消毒法等十分ナリト認ムルモノ又ハ醫師ニ於テ死ニ顧スルト認メタルモノ等ハ當該吏員ノ認定ニヨ

郡市役所

警察署

全分署

町村役場

リ自宅療養ヲ許可スルモ亦妨ケナシ
但自宅療養ヲ許可スル場合ハ成ルヘク掛吏員中主長タル者ノ臨檢ヲ要ス

訓令第二十五號

明治二十九年五月二十七日

現今香川兵庫栃木ノ三縣ニ於テ流行スル再歸熱ハ一ノ傳染性疾患ニシテ其發作ノ際患者ノ血液ヲ検査スルトキハ必ス「オーベルマイエル」ノ螺旋菌ヲ見ル是則其診斷ヲ確証スヘキ病原ナル趣然ルニ從來本邦ニ於テ其流行ヲ徵スヘキ記事ナク隨テ其經脈ニ乏キカ爲メ醫師ニ於テモ單ニ臨床症候ノミニテ其診斷ヲ爲スニ苦ムコトアリ已ニ右三縣ニ於ケルモ其初メハ或ハ不全腸室扶私トシ或ハ之ヲ流行性感冒トシ近日流行蔓延ノ後ニ至リ顯微鏡検査ヲ遂ケ始メテ該病タルヲ知レルカ如キ狀況ナル趣ニ有之因リテ此旨特ニ醫會ヘ通達シ自今熱性病患者ノ多少ニ注意シ就中諸職工場等ニ於テ該病患者發生スルトキハ醫師ニ於テ速ニ顯微鏡検査ヲ遂ケテ其病症ヲ確カメ若シ再歸熱患者ナルトキハ一面病毒散蔓ノ虞ナカラシムル様適當ノ措置ヲナシ一面本廳ニ其狀況ヲ速報シ且此際不潔ノ箇所ハ勿論一般清潔法ヲ怠ラス專ラ豫防法ニ注意スヘシ

郡市役所

町村役場

訓令第二十八號

明治二十九年六月十一日

郡市役所
警察署
全分署
町村役場

再歸熱豫防方法ニ付テハ追々可相達義モ有之候得共差向キ該病患者發生ノ兆アルトキハ左ノ各項ニ依リ豫防法ヲ施行スヘシ

- 一 一般ニ清潔法ヲ施行スルコト
- 二 芥溜ヲ掃除シ其塵芥ハ成ルヘク焼却スルコト
- 三 破損セル井戸及ヒ下水ハ之ヲ改修スルコト
- 四 患者死者アルヲ速ニ知得スヘキ方法ヲ設クルコト
- 五 醫師ヲシテ貧民部落ヲ巡診セシムルコト
- 六 貧困者ノ病ニ罹リタル際速ニ醫療ヲ受ケ易カラシムルコト
- 七 避病院若クハ隔離病舎ヲ開設シ本病又ハ疑似患者アリシ際速ニ隔離スルコト
- 八 已ムテ得ザル事情アリテ患者ヲ入院セシムル能ハサル場合ハ健康者ヲ隔離スルニト
- 九 患家ハ勿論患家ニ近接シタル家屋ニシテ不潔狹隘等病毒傳播ノ虞アルモノハ其都分ノ交通ヲ遮斷スルコト
- 十 交通遮斷中ノ家ニ於ケル日用品買入其他ノ用務ハ衛生組合若クハ其近隣ノ者等ヨリ適宜ノ取扱人ヲ定メテ之ヲ辨セシムルコト
- 十一 患者治療若クハ死亡シ又ハ避病院ニ隔離シタル時ヨリ一週間ヲ經ルモ新患者ヲ發生セサルトキハ遮斷ヲ解除スルコト
- 十二 患者死亡シタルトキハ其死屍ハ消毒ノ上直ニ火葬若クハ埋葬スルコト
- 十三 醫師診察ノ際若クハ看病人患者ニ接スル場合ハ必ス消毒衣ヲ服サシメ其衣服ハ時々嚴重ナル消毒ヲナスコト
- 十四 看病人ハ消毒換衣ノ後ニアラサレハ他ノ健康者ト交通セシメサルコト
- 十五 衛生組合ニ於テハ該組長ヨリ豫防法ヲ各戸ニ説示セシムルコト

訓令第二十九號

明治二十九年六月十一日

郡市役所
警察署
全分署
町村役場

- 今般論第二號ヲ以テ再歸熱豫防上ニ關シ告諭セシ義モ有之候處若シ該病患者發生シタルトキハ病家及其近傍ノ各家ニ於テ左ノ各項ニ從ヒ豫防ノ實効ヲ期スヘキ旨豫メ一般ニ周知セシムル權收計フヘシ
- 一 患者ハ速ニ避病院又ハ隔離病舎ニ移シテ治療セシムルコト
 - 二 患者ヲ入院又ハ入舎セシムル能ハサル場合ニハ病室ヲ定メ看病人ノ外他人ノ交通ヲ絶ツコト
 - 三 病室ハ清潔ニ掃除シ成ルヘク家什ヲ置カサル様取片付空氣ノ流通ヲ良クスルコト
 - 四 患者ノ糞便ハ石灰乳ヲ以テ消毒スルコト
 - 五 患者ノ用サタル衣服、臥具、敷物、飲食器、其他看病人ノ衣服等ニシテ病毒ニ汚染シ若クハ汚染シタル疑アルモノハ適當ノ容器ニ取纏メ消毒藥ヲ澁キ置更ニ消毒法ヲ行フコト但再ヒ供用セサルモ差支ヘナキモノハ成ルヘク焼却スルコト
 - 六 看病人ハ其衣服ヲ病毒ニ觸レサル様注意シ且ツ其汚染セル物品等ヲ取扱ヒタルトキハ直ニ二十倍ノ石炭酸水ニテ手ヲ洗フコト
 - 七 患者恢復ノ後ト雖モ消毒法ヲ行ヒ換衣セサル間ハ他人ト交通セシメサルコト
 - 八 患者アル家ト交通ヲ爲サ、ルコト

- 九 芥溜ヲ掃除シ病家ヨリ流ル、下水ノ溢流濘濁ヲ防キ且ツ井戸及ヒ下水溝ノ破損セル部分ハ速ニ改修スルコト
- 十 飲食物ハ成ルヘク熟煮シテ用ヰルコト
- 十一 身體ニ創傷アルモノハ石炭酸水ヲ以テ時々其部分ヲ洗滌シ創面ノ癒着ヲ謀ルト共ニ病毒ノ侵入ヲ防クニ注意スルコト
- 十二 總テ熱性病ニ罹リタル者ハ速ニ醫師ノ治療ヲ受クルコト
- 十三 家屋ヲ掃除シ家什、疊、建具等ハ日光空氣ニ曝スコト
- 十四 衣服、臥具等ハ能ク日光空氣ニ曝露シ其汚レタルモノハ洗濯スルコト

訓令第三十號

明治二十九年六月十五日

郡市役所
町村役場

市町村長ハ毎年十二月末日現在賣藥營業方數合計表及別紙書式ノ地租合計表ヲ調製シ賣藥營業方數表ハ翌年一月十日限地租合計表ハ翌年四月十五日限所轄收稅署ヘ差出スヘシ

明治何年十二月末日現在地租合計表

地目		反		別		地		價		地		租	
何(市)	(町)	村	町	市	町	市	町	市	町	市	町	市	町
畑													

郡村宅地	市街宅地	畑田	池沼	山林	原野	雜種地	合計

右及報告候也

年月日

知事宛

何(市)(町)村長 氏 名印

訓令第三十一號

明治二十九年六月十五日

郡市役所
町村役場

明治十九年内務省令第十九號及同年愛知縣令第十九號ニ依ル寄留届寄留者復歸届取扱方左ノ通定
一 入寄留ノ届出アルキハ市町村長ハ戶籍取扱手續第二十條ノ手續ヲ了シタル後其届書ニ年月日登

記済ノ旨ヲ記入シ其職印ヲ押捺シ直ニ之ヲ寄留者本籍地ノ市長東京京都大阪ノ三市ニ在テハ區長以下同シ町村長ニ送付スヘシ

一 出寄留ノ届出アルキハ市町村長ハ戶籍取扱手續第二十三條ノ手續ヲ了シタル後前項寄留地ヨリ發送ノ届書到達スヘキ日數ヲ經タルモ猶到達セサルキハ其出寄留届書ニ前項ノ如ク記入捺印シ之ヲ寄留地ノ市町村長ニ送付スヘシ

一 寄留者本籍ニ歸リタル届出アルキハ市町村長ハ戶籍取扱手續第二十四條ノ手續ヲ了シタル後其届書ニ前項ノ如ク記入捺印シ直ニ之ヲ其元寄留地ノ市町村長ニ送付スヘシ

訓令第三十二號

明治二十九年六月二十二日

郡市役所

明治二十八年十二月十二訓令第九十四號學事年報取調條項及諸表様式中會計年度末調査ニ係ル取調條項ノ申報及諸表差出期限翌年度七月十五日限リトアルヲ翌年度七月二十日限ト改正ス

訓令第三十三號

明治二十九年七月十三日

郡市役所

町村役場

諸願届ニ添付スル別紙圖面ハ必ス其願届書ト別紙主務官ニ進達スルモノハ其願届書トニ別印ヲ爲サシメ若シ之ヲ脱シタルトキハ其役所ニ於テ別印ヲ爲シ進達スヘシ

訓令第三十四號

明治二十九年七月二十日

郡市役所

町村役場

行旅死亡人及病人取扱手續別冊ノ通改定ス

但此手續ニ抵觸スル從前ノ令違ハ總テ廢止ス

(別冊)

行旅死亡人及行旅病人取扱手續

第一條 行旅死亡人及行旅病人重症飢餓ニ迫ルモノアルキハ市町村長ニ於テ明治十五年九月布告第四十九號行旅死亡人取扱規則及此手續ニ據リ敏速ヲ旨トシ取扱フヘシ

第二條 行旅死亡人ヲ埋葬シタルトキハ左ノ各項ヲ詳記シ三日以内ニ縣廳ニ報告スヘシ

- 一 死亡シタル事由(行旅病人ニシテ救護ノ末死亡シタルモノハ其事由)
- 二 本籍若クハ生産地氏名職業等ヲ徵スヘキ事項
- 三 衣類其他遺留金品
- 四 埋葬シタル年月日及場所
- 五 醫師ノ死亡証又ハ死体檢案書寫

第三條 行旅死亡人本籍詳ナルモノハ其死亡或ハ死屍發見ニ關スル詳細ノ顛末書及費用明細書第一式遺留金品取調書第二式醫師診斷書第五式若クハ檢案書ヲ添ヘ死体引取又ハ費用償還方ヲ本籍市區町村長ヘ照會スヘシ

第四條 行旅死亡人ノ遺留品賣却方本籍市區町村長ヨリ照會ヲ受タルキハ賣却ノ上仕譯書第三式添ヘ回答スヘシ

第五條 本籍詳ナラサル死亡人アルトキハ市町村ニ於テ直ニ揭示及新聞紙ニ公告第七式ヲ爲シ其費用

ハ公告満期後十日以内ニ請求書^{第六號}ニ第三條ノ書類及正當領收証ヲ添付シ町村長ハ郡長ヲ經市長ハ直ニ縣廳ヘ請求スヘシ

第六條 本籍詳ナラサル死亡人ノ遺金并ニ遺品賣却代金ヲ以テ費用ニ充テタルトキハ遺品賣却代金仕譯書^{第三號}式及遺金並ニ遺品賣却代金ヲ以テセル支拂仕譯書^{第六號}式ヲ添ヘ前條ニ依リ不足金ノ請求又ハ餘額金保管チ上申スヘシ

但遺品ヲ公賣シタルトキ該落札書隨意契約ナルトキハ買受書ヲ添付スヘシ
餘額金保管年間ヲ經過シ仍ホ本籍不詳ナルトキハ滿期後十日以内ニ縣廳ニ送納スヘシ

第七條 本籍詳ナラサル死亡人ヲ新聞紙ニ公告スルハ二回トシ若シ二種ノ新聞紙ニ公告スルトキハ各一回トス

第八條 死亡人取扱費用ハ左ノ金額ニ據ル

- 一 埋葬人夫^{運搬及穴掘} 二人以内 一人ニ付金貳拾錢以内
- 一 死休看守人 一人 一晝夜金貳拾五錢以内
- 但看守人ヲ付スルハ倒死變死等家屋外ニシテ特ニ看守ヲ要スルモノニ限ル
- 一 葬具 棺槨^{種等} 金四拾錢以内
- 一 墓標 一本 金參錢以内
- 一 揭示札 一枚 金參錢以内
- 一 新聞紙公告料 二回 實費

第九條 行旅人重病飢餓ニ迫リ實際拾遺難キモノト認ムルモノ又ハ警察官ヨリ引渡ヲ受ケタルトキハ所在地市町村長ニ於テ懇切ニ救護シ醫療ヲ加ヘ本人住所氏名等開札書^{第四號}式醫師診斷書^{第五號}式所持金品取調書^{第二號}式及費用明細書^{第一號}式ヲ添ヘ救護シタル顛末ヲ書シ本人引取及費用償還方^{第三號}式

日以内ニ本籍市區町村長ヘ照會スヘシ
但住所氏名等開札書詳細ナルヲ要ス

前項ノ者醫師ノ診斷ニ依リ救護ヲ要セスト認ムルモノハ直ニ解放シ同時ニ其旨本籍市區町村長ニ通牒スヘシ

第十條 行旅重病人ヲ救護シタルトキハ左ノ各項ヲ詳記シ三日以内ニ縣廳ニ報告スヘシ

- 一 發病行倒ノ顛末及其場所
- 二 住所氏名等開札書^{第四號}式
- 三 所持金品
- 四 投藥ノ有無及救護場所
- 五 本籍ヘ照會シタル月日及回答ヲ得タルモノハ其事由
- 疾病治癒ニ依リ解放又ハ本籍ヘ引取タルモノハ左ノ各項ヲ詳記シ縣廳ニ報告スヘシ
- 一 治癒ニ依リ解放又ハ引取タル事由及出立シタル月日並ニ歸着スヘキ地名
- 二 救護シタル日數
- 三 休藥シタル月日
- 四 費用償還ノ有無
- 五 本籍判明ナラス取調中ノモノハ其事由

本籍不詳ニシテ救護數月ニ渉ルモノハ醫師診斷書^{第五號}式ヲ添ヘ其現狀ヲ詳記シ三ヶ月毎ニ縣廳ニ報告シ其救護費ハ明細書^{第一號}式及正當領收証ヲ添ヘ毎翌月五日マテニ縣廳ニ請求スヘシ

第十一條 行旅病人ノ本籍若クハ生産地判明ナラス他ニ探知スヘキ途ナク全ク無籍者ト認ムルトキハ速ニ本人企望ノ地幼稚者ハ救護市町村ニ就籍セシムヘシ

但白痴又ハ暗啞等ニシテ本籍若クハ生産地詳ナラサルモノハ取調關係書類ヲ添ヘ事實ヲ詳具シ取扱方伺出ヘシ

前項ニ依リ就籍シタルモノハ救護費償還及本人引取方第九條ニ依リ就籍地市區町村長ヘ照會スヘシ
第十二條 行旅病人救護費ハ左ノ金額ニ據ルヘシ

- 一 醫師診察料 初診一回ニ付 金貳拾錢以内
再診以後一回ニ付 金拾錢以内
- 一 藥價 一日分 年十歳未満金五錢以内
全十年以上金六錢以内
- 一 病人運搬人夫 二人以内 里程一里以內 金六錢以内
一人ニ付 金六錢以内
- 一 看護人 一人一晝夜 金拾五錢以内

但看護人ヲ付スルハ重病危篤ノモノニ限ル又同時ニ數人ノ重病入ヲ一個所ニ於テ救護スル場合ニ於テモ一人ヲ超過スヘカラス

- 一 宿泊料 一晝夜 夜具 金參錢五厘以内
トモ 年十歳未満金參錢五厘以内
- 一 賄料 一度分 全十三年以上金貳錢以内
- 一 綿入衣買上料 一枚 金五拾錢以内
- 一 拾買上料 一枚 金四拾錢以内
- 一 單衣買上料 一枚 金貳拾錢以内

行旅病人ハ可成人家ニ宿泊セシムルト雖モ宿泊セシムル家屋ナク一時小屋掛ヲ爲ストキハ左ノ金額ニ據ルヘシ

- 一 小屋掛料 一個所 材具トモ 金七拾錢以内
- 一 蒲團借入料 一晝夜一枚ニ付金壹錢五厘以内
但借入ルヘキ品ナク止テ得ス買上ヲ要スルトキハ一枚金五拾錢以内

一 蚊帳借入料 一夜一張ニ付 金壹錢以内

但借入ルヘキ品ナク止テ得ス買上ヲ要スルトキハ一張ニ付金六拾錢以内

一 枕買上料 一個 金參錢以内

第十三條 救護最終ニ於テ不用ニ属シタル小屋掛及買入品ハ賣却シ該代金ハ救護費ノ内ヘ償還シ其過不足ハ第六條ノ取扱ヲ爲スヘシ

第十四條 行旅死亡人及病人ノ携帶シタル老幼痲疾者ニシテ自活スル能ハサルモノハ第十二條ノ費額以內ヲ以テ一時救護シ第九條ニ依リ本籍市區町村長ニ照會スヘシ

前項ノモノ本籍若クハ生産地判明ナラス他ニ探知スヘキ途ナキモノハ第十一條ニ依リ就籍セシムヘシ

但行旅死亡人ノ遺兒ハ死亡人ノ公告滿期後ニ於テ全ク無籍ト認メタルトキ就籍セシムヘシ

第十五條 路上ニ於テ瘋癲病者ヲ認メタルトキ本籍不詳ノモノハ所轄警察署分署若クハ巡查駐在所ヘ引渡シ其詳ナルモノ及警察官又ハ憲兵ヨリ本籍詳ナルモノ、引渡ヲ受ケタルトキハ此手續ニ依リ取扱フヘシ

但本籍詳ナルモノニシテ狂暴ノ虞アルトキハ所轄警察署又ハ分署ヘ保護ヲ囑託スルコトヲ得

第十六條 第三條及第九條ノ照會再度ニ及フモ尙ホ回答ニ接セサルトキハ町村長ハ關係書類寫ヲ添ヘ所轄郡長ヘ具申スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ郡市長ハ當該郡市區長ヘ照會スヘシ其照會再度ニ及ヒ尙ホ回答ヲ得ヌ又ハ他ノ事故ニ依リ其結了ヲ期シ難シト認ムルトキハ關係書類ヲ添付シ縣廳ヘ具申スヘシ

第十七條 本縣内ノモノ行旅中死亡又ハ救護ヲ受ケ本籍市區町村長ニ於テ前條ノ照會ニ接シタルキハ直ニ家元又ハ親戚ニ傳達シ其費用ノ償還及引取方ヲ爲サシムヘシ

家元及親戚亦貧ニシテ費用償還スル能ハサルトキハ家元(家元ナキモ)ヨリ親戚及隣保(親戚ナキモ)ヨリ親戚及隣保(親戚ナキモ)二名以上ノ連署ヲ以テ費用ノ全部若クハ幾部分ノ救助ヲ出願セシムヘシ

第十一條 及第十四條ノ無籍者救護地市町村ニ就籍シタルトキハ就籍許可ノ日ヲ以テ救護ヲ廢止シ該費用償還スル途ナキモノハ前項ニ依リ救助ヲ出願セシムヘシ

第十八條 本縣内ノモノ行旅中救護ヲ受ケタルモノヲ引取ラントスルモ家元及親戚亦貧ニシテ該旅費支辨スル能ハサルトキハ救護地ノ照會ニ接シタル日ヨリ五日以内ニ事實ヲ詳具シ家元(家元ナキモ)ヨリ親戚及隣保(親戚ナキモ)二名以上ノ連署ヲ以テ旅費ノ全部若クハ幾部分ノ救助ヲ出願セシムヘシ

第十九條 病人引取費用救助ノ許可ヲ得該金本籍役場ヘ到達ノ上ハ速ニ引取人ヲ出發セシムヘシ病人引取歸着シタルトキハ三日以内ニ其旨縣廳ヘ報告スヘシ

第二十條 行旅病人引取費用ハ左ノ金額ニ據ルヘシ
但引取人ハ一人トス

- 一 晝食 一度年齡十三歳未満一人ニ付金貳拾錢以内
- 一 宿泊料 一泊一人ニ付 金拾貳錢以内
- 一 病人車駕賃 人力車一里ニ付 金六錢以内
駕一里ニ付 金拾錢以内
- 一 瀛車賃 但駕ハ山路ニシテ人力車ノ通行セサル路線ニ限ル 下等賃
- 一 船賃 全
- 一 引取人日當 一日 金貳拾錢以内

但家元及親戚ナキモノ又ハ家元並ニ親戚亦貧且老幼癱瘓者ニシテ引取人ヲ雇入ル、モノニ限ル

第二十一條 第八條第十二條及第二十條ノ制限ヲ超過シ又ハ費目以外ノ費用ヲ要セサレハ支辨シ難キ事情アルトキハ其事實ヲ詳具シ伺出ヘシ
但死体取扱ニ差掛リ止ヲ得ス第八條ノ費用ヲ超過シ伺出ツルノ違ナキモノニ限リ事後ニ於テ申請スルコトヲ得

第二十二條 行旅死亡人取扱費及行旅病人救護費ハ一時市町村費ヲ以テ繰替支拂ヒ其都度正當領收証ヲ徴シ置クヘシ

第二十三條 市町村長ニ於テ第十七條第二項及第三項ノ願書ヲ受ケタルトキハ事實寫ト調査シ止ヲ得サルモノニ限リ本人及親戚ノ財產實力調査戸籍寫救護若クハ死亡地市區町村長トノ往復書類又ハ其寫及正當受領人ノ領收証ヲ添ヘ其事情ヲ詳細申スヘシ
但第十七條第三項ノ願書ニハ就籍シタル願末書類寫ヲ添付スヘシ

市町村長ニ於テ第十八條ノ願書ヲ受ケタルトキハ病人引取費用豫算書第八條式ヲ調製シ前項ノ取扱ヲ爲スヘシ

第二十四條 郡長ニ於テ前條ノ願書ヲ受ケタルトキハ事實ヲ篤ト調査シ意見アルモノハ其旨副申スヘシ
第二十五條 行旅人傳染病ニ罹リタルトキハ發病地ノ市町村ニ於テ全癒ニ至ルマテ此手續ニ依リ救護シ身元亦貧ニシテ資力ナキモノ又ハ本籍不詳ノモノハ其費用明治二十七年七月本縣訓令第五十二號傳染病赤貧患者救助手續ニ依リ取扱フヘシ

(第一號) 行旅(病)(瘞死)(溺死)(倒死)人(救護)(仮埋葬)諸費明細書

何府縣郡市町村大字(無籍) 何 某 (原籍氏名不詳男一人)

內譯

何年月日生(何年何ヶ月位)

名	稱	員	數	事	由	金	額
藥	劑	何	日	何月何日ヨリ何月何日マテ一日分何程	金	何	程
賄	料	何	度	何月何日夕ヨリ何月何日朝マテ一度ニ付何程	金	何	程
看護	人給料	何	日	病室危篤ニ付何月何日ヨリ何月何日マテ一日金何程	金	何	程
醫師	診察料	何	度	初診一回金何程再診後何度一回ニ付金何程	金	何	程
宿泊	料	何	泊	何月何日ヨリ何月何日マテ一泊金何程	金	何	程
小屋	掛料	一	ヶ所	竹(木)金何程繩金何程繩金何程人共何人一入ニ付何程	金	何	程
蒲團	借上料	何	枚夜	何月何日ヨリ何月何日マテ一枚ニ付金何程	金	何	程
蚊帳	借上料	一	張夜	何月何日ヨリ何月何日マテ一夜ニ付金何程	金	何	程
綿入	衣買上料	一	枚		金	何	程
袷	衣買上料	一	枚		金	何	程
單衣	買上料	一	枚		金	何	程
枕	買上料	一	個		金	何	程

埋葬	人夫賃	何	人	一人ニ付金何程	金	何	程
死休	看守人	一	人	一晝夜金何程	金	何	程
葬	具			棺金何程、棒一本金何程、繩何束金何程	金	何	程
墓	標	一	本		金	何	程
揭示	札	一	枚		金	何	程
新聞紙	公告料	二	回	何月何日同何日何新聞紙公告一回金何程	金	何	程

右之通相違無之候也

年月日

愛知縣何市(何郡町村)長氏名印

(第二號)

行旅(病)(盜)(倒)死人何府縣郡市町村大字某所持金品取調書

一金何程

銀貨何程

一何々

何個

一何々

何枚

右之通相違無之候也

年月日

愛知縣何市(何郡町村)長姓名印

(第三號)

行旅(病)(盜)(溺)(倒)死人何府縣郡市町村大字某(本籍不詳)遺物(不用物品)

賣却代金仕譯書
一金 何程
何々公賣(競賣)代金

計金 何程
右之通賣却取計候也

(第四號) 年月日

身元聞糺書

愛知縣何市(何郡町村)長姓名印

何府縣國郡市町村大字^地族籍

職業 戶主(何某何女)(何某兄弟姊妹)

何 某

(寄留所アレハ其寄留所ヲ併記スヘシ)

生年月日(年齢)

- 一 改姓名セシコトアレハ舊姓名
- 一 養子女或ハ他ノ附籍等ナレハ其實家ノ住所姓名職業並ニ戸主トノ身綴
- 一 祖父母兄弟姊妹等アレハ同居別居ヲ區別シ其住所姓名職業
- 一 親戚及朋友知己等ノ住所姓名職業
- 一 氏神及檀那寺ノ社寺名
- 一 市町村長又ハ役場吏員若クハ舊庄屋ノ姓名
- 一 本籍若クハ生産地出發ノ事由及年月日並ニ經歷ノ地名、行先地名、旅行中ノ生計狀況

右之通申立候也

年月日

(備考トシテ左ノ一項ヲ追書スヘシ)

愛知縣何市(何郡町村)長姓名印

一 相貌ノ狀況

(第五號) 診斷書

何府縣郡市區町村大字^地

何 某

- 一 体質
- 一 病名
- 一 原因
- 一 症候
- 一 經過
- 一 治法
- 一 豫後

右ハ何年何月何日遂診斷候處前書之通候也

年月日

愛知縣何郡市町村大字番戶

醫師 姓名 印

行旅(病)(急)(倒)(溺)死人本籍不詳切理葬諸費請求(仕譯)書

(第六號)

一金何程

(遺物ナキトキノ例)
埋葬諸費(救護及埋葬諸費)

一金何程

(遺金品ヲ以テ支拂ヒ不足ヲ生シタルトキノ例)
埋葬諸費(救護及埋葬諸費)

内

金何程

遺金及遺品賣却代金ヲ以テ補充額

此譯

金何程

遺金

不足金何程

遺品賣却代金

一金何程

(遺金品ヲ以テ支拂ヒ殘餘ヲ生シタルトキノ例)
埋葬諸費(救護及埋葬諸費)

外

金何程

遺金及遺品賣却代金

此譯

金何程

遺金

金何程

遺品賣却代金

差引殘金何程

右ハ何年何月何日(當市何町何所)(當町村大字何字何)ニ於テ(病)(終)(溺)(倒)死致候ニ付明治十五年
第四十九號布告ニ依リ取扱候處成規ノ期限ヲ過クルモノ等申出ルモノ無之本籍不詳ト認メ候ニ付(本

人所持品ヲ以テ費用ニ充テ(埋葬取計(候處)(前寄之通不足ニ付御下渡相成度)(殘餘相成候間該金ハ成
規之通保管可致依テ)(候間該金御下渡相成度)關係書類相添此段及(上申)(請求)候也

年月日

愛知縣何市(何郡町村)長姓名印

縣知事宛

(第七號)

公告(揭示)

本籍姓名不詳男一人

年齢何年位○面丸キ方○目丸キ方○色黒白キ方○口小大キ方○耳小大キ方○髭鬚キ方○頭髮何々○丈所キ方○
体格肥エタル方○着衣何々○携帶品何々
右明治何年何月何日(當市何町何所)(當町村何大字何字何所)(山)(川)ニ於テ(終)(溺)(倒)死体發見候
ニ付檢視濟ノ上仮埋葬取計置候條心當リノ者ハ(當市役所)(當町村役場)へ申出ツヘシ

愛知縣何市役所(何郡町村役場)

(第八號)

行旅病人引取費豫算書

何郡市町村大字番戶

何某引取費

金何程

家元又ハ親戚(隣保及慈善家)支出金

差引

金何程

不足額

引取費内譯

名	稱	里度	程數	事	由	金額
食	料	何	度	病人何度引取人何度一度ニ付金何程	金	何程
宿	泊	料	泊	病人何泊引取人何泊一泊ニ付金何程	金	何程
病人	人	力	車	賃	何	何
全	駕	賃	里	何地ヨリ何地ニ至ル陸路何里一里ニ付金何程	金	何程
全	瀛	車	賃	何地ヨリ何地ニ至ル陸路何里一里ニ付金何程	金	何程
引取人	瀛	車	賃	何停車場ヨリ何停車場ニ至ル下等賃費	金	何程
病人	瀛	船	賃	何停車場ヨリ何停車場ニ至ル往復下等賃費	金	何程
引取人	瀛	船	賃	何地ヨリ何地ニ至ル下等賃費	金	何程
病人	和	船	賃	何地ヨリ何地ニ至ル往復下等賃費	金	何程
引取人	和	船	賃	何地ヨリ何地ニ至ル往復下等賃費	金	何程
全	日	當	日	陸路一日十何里ノ見込ヲ以テ何日分一日ニ付金何程(瀛車及船船日數ハ實數ヲ以テス)	金	何程

右之通相違無之候也

年月日

愛知縣何市(何郡町村)長姓名印

訓令第三十六號

明治二十九年七月二十日

郡市役所
町村役場

明治二十九年七月縣令第四十號害蟲驅除豫防規則第一條ノ害蟲驅除豫防方法左ノ通り定ム

害蟲驅除豫防方法

- 一 蝗蟲(ナメシ)(禾本科植物特ニ嗜好蝕害ス)
- 一 兼テ捕蟲網ヲ製シ置キ苗代田或ハ播秧後ノ稻田ニ於テ稻葉ノ上ヲ輕ク拂ヒ底ニ集リタルモノヲ壓殺スルヲ良トス
- 一 田畔ヲ高クシ田内深ク水ヲ湛ニルトキハ自然田畔ニ漂ヒ來ルヲ以テ捕蟲網ヲ以テ拂ヒ取ルカ又ハ撲スルカ或ハ泥土ヲ以テ畔中ニ塗り込ムヘシ尤モ之ヲ行フニハ朝早キヲ良トス
- 一 農家常ニ田地ヲ巡檢シ手ツカラ之ヲ捕殺シ集メテ肥料トナスヘシ
- 一 乾草類ヲ適宜ノ場所ニ堆積スルトキハ寒冷ナル夜ハ茲ニ集合スルヲ以テ早朝容易ニ捕獲シ得ヘシ
- 一 被害地接近ノ路傍畦畔堤塘等ニ生スル雜草等ヲ刈取り冬ハ之ヲ燒キ拂ヒ可成産卵地ヲ搜索シテ撲滅ノ方法ヲ圖ルヘシ
- 一 螟虫(イムシ)(主ニ稻、粟、黍、藜、藍等ヲ蝕害ス)
- 一 田圃ノ一隅又ハ各所ニ鹽ノ如キモノニ水ニ石油ヲ注キタル者ヲ容レ中ニ蠶ヲ置キ洋燈ナトノ如キ点火器ヲ備フルカ或ハ松明等ヲ以テ自然火光ヲ慕ヒ飛ヒ來ル所ノ蛾ヲ撲殺或ハ燒殺スヘシ尤モ是ニ供スルカ爲メ特ニ製造セラレタル誘蛾燈ヲ用フルトキハ其効ヲ奏スルコト完全ナリ

- 一 苗代田又ハ本田ノ稻葉ニ産ミ付ケタル卵塊ヲ日々注意シテ採集スヘシ尤モ是等ノ用ニ便センカ
タメ苗代ハ幅四尺許リトナシ其長サハ適宜ニスヘシ
- 一 枯葉セシ藪稗ハ必ス注意シテ之ヲ切り取り焼捨ツヘシ又タ出穂ノ際白枯レノ穂ヲ見ルアラハ直
ニ之ヲ抜キ取ルヘシ
- 一 被害ノ藪稗ハ必ス灰トナスカ或ハ堆積肥料中ニ積ミ入ルヘシ
- 一 稻ノ收穫後ト雖モ此蟲ハ尙ホ刈株中ニ蟄伏スルモノ少ナカラサルヲ以テ必ス之ヲ掘リ取りテ燒ク
カ若クハ石灰ヲ混シテ堆肥トナシ幼蟲等ノ蟄伏セルモノヲ蒸殺スヘシ
- 一 田地ノ雜草ハ勿論畦畔等ニ至ルマテ冬季枯稿ノ際十分ニ燒盡シ勉テ圃地ノ清潔ヲ圖ルヘシ
- 一 葉捲蟲(ハマクリムシ)(主ニ稻ヲ蝕害ス)
- 一 ハナセ、リト稱スル蝶ノ飛翔スルヲ認メハ必ス捕獲撲殺スヘシ
- 一 但シ之ヲ行フニハ手網ヲ用フルヲ便トス
- 一 此蟲ノ卵子ハ灰色ナルヲ以テ始終稻田ヲ巡檢シ其葉面ニ付着スルモノヲ搜索シテ壓殺スヘシ
- 一 稻ニアナムシノ棲息スルモノヲ搜索シテ之ヲ採集撲殺スヘシ
- 一 既ニ稻ノ葉ヲ引キ寄せテ集テ作リタルキハ恰モ羽子板様ノモノニ枚ヲ造リ之ヲ一人用トシ其
一枚ノ前縁ニ長サ二寸許リノ竹釘ヲ打置キ二枚ノ板ヲ以テ其巢ヲ挿撃シ後竹釘ヲ打タル部
分ヲ以テ其巢ヲ開放スヘシ尤モ之ヲ行フニハ前以テ田ニ水ヲ湛ヘ鯨油若クハ石灰油ヲ注キ置クヘ
シ
- 一 浮塵子(ウシカ)(主ニ稻ヲ蝕害ス)
- 一 先ツ田面ニ水ヲ滿タシ魚油種油若クハ石灰油等ヲ一反歩凡ソ三合ノ割ヲ以テ水面ニ注キ更ニ草
箒歟或ハ小竹竿ヲ以テ稻葉ヲ拂フキハ蟲ハ水中ニ落テ死スルモノナリ由テ此時田ノ草取りヲ行

- 一 ハ最モ便利ナリ但シ蟲ノ多少ニ拘ハラス田ノ草取りノ際ニハ必ス前以テ油類ヲ注キ凡テ害蟲
ヲ拂ヒ落シ後チ田ノ草ヲ取ルヘシ然スルキハ畜ニ浮塵子ノ驅除ニ功アルノミナラス螟蟲葉捲蟲
等何レモ其成蟲ヲ驅除スルノ功能アリ尤モ成蟲ハ所々ニ飛翔シ水中ニ落チサル場合アリ如斯キ
ハ朝露ノ未タ乾カサルニ乘シ前法ヲ施スヘシ
- 一 夜間誘蛾燈ヲ以テ殺スモ可ナリ
- 一 圃地畦畔ノ雜草ヲ燒棄シ勉テ圃場ノ清潔ヲ保チ大氣ノ流通ヲ能クスヘシ
- 一 地蠶(ヨトウムシ)(主ニ豌豆蠶豆大小豆及蕎麥棉菜茄子芋等ヲ嗜食ス)
- 一 日没ヨリ罹害圃ニ出テ燭火若クハ松明ノ明ニ由テ採集撲殺スヘシ尤モ此法ハ拂曉ヨリ日出迄ノ
間ニ行フモ可ナリ
- 一 圃地ノ周圍ハ勿論作物ノ間ニモ深サ一尺許ノ溝ヲ掘リ蟲ノ之ニ墮落スルモノヲ捕殺スヘシ
- 一 植物ノ根際ニ稿等ノ如キ塵芥ヲ布キ置キ該蟲ノ其下ニ潜伏スルモノヲ捕殺スヘシ
- 一 蛹蛾及ヒ卵ノ類ヲ發見セハ直ニ之ヲ捕殺スヘシ
- 一 該蟲ノ嗜好作物特ニ豌豆蠶豆菜類等ヲ圃地ノ一隅ニ播種シ蟲ノ之ニ群集スルヲ俟テ熱湯ヲ注キ
殺スヘシ
- 一 馬醉木、煙草莖等ノ煎汁ヲ注キ若クハ生石灰硫黃煤等ヲ根際及葉上ニ散布スヘシ
- 一 冬季植物ノ莖葉枯死セル時ニ當リ田圃ノ周圍ハ勿論其他害蟲潜伏ノ場所ト認ムル所ハ出來得ル
丈ケ撲滅ノ方法ヲ施スヘシ
- 一 粘蠶(ケムシ)(主ニ桑茶ヲ蝕害ス)
- 一 蟲ノ稚クシテ廣ク散亂セサル前葉ト共ニ挾ミ取り撲殺スヘシ
- 一 硫黃石灰等ヲ水ニ和シテ蟲体ニ散布スルモ可ナリ

- 一 蠅蛾卵ノ類ハ平常注意シテ捕殺スヘシ
- 一 夜間誘蛾燈ヲ点シ蛾ヲ誘殺スヘシ又蠅ノ樹下ニ蟄伏スルモノヲ索メテ捕殺スヘシ
- 一 園内ハ落葉雜草等ヲ盡ク掃集シテ燒棄テ勉テ清潔ニスルヲ良トス然ラサレハ其下ニ於テ蛹化スルノ虞レアレハナリ
- 一 天牛蟲カミキリムシ(主ニ苹果梨桑等ヲ蝕害ス)
- 一 針金ノ如キ細長線ヲ穴ノ中ニ挿入シ幼蟲ヲ刺殺スヘシ
- 一 蝨入シタル孔口ニ髮付脂若クハ粘土等ヲ塗リ付ケ其中ノ蟲ヲ窒息セシムヘシ
- 一 朝露ノアル中國内ヲ巡視シ拾ヒ取りテ殺スヘシ又同時ニ卵子ヲモ壓殺スヘシ
- 一 六七月ノ交ニ當リ鯨油、濃木、灰汁若クハ石鹼ヲ水ニ溶カシタルモノ、ニテ樹幹ヲ洗ヒ樹皮ヲ清潔ニシ勉テ其潜伏所ヲ奪ヒ去ルヘシ
- 一 苦澱汁其他樟腦等ノ藥劑ヲ孔中ニ注入スルモ効アルヘシ
- 一 尺蠖シヤクトリムシ(主ニ茶樹桑樹ヲ害ス)
- 一 枝梢又ハ莖幹ニ付着スル蟲ヲ認メ斂ニテ直ニ其体ヲ剪斷スヘシ
- 一 俄カニ被害樹ヲ振搖スルハ口ヨリ糸ヲ吐キ落チ來ルモノナレハ此ノ時捕殺スヘシ
- 一 摘葉ノ際注意スルハ該虫ヲ發見スルコト敢テ難カラサルヲ以テ此ノ際捕殺スルヲ要ス
- 一 幹枝ニ尺蠖ヲ見サルハ即チ蟄蛹ノ期ナルヲ以テ幹枝ニ結ヒタル繭ヲ取り除キ猶ホ根際ノ土中ヲ搜索シテ其蟄伏セルモノヲ捕殺スヘシ
- 一 六七月ヨリ八九月ノ頃ニ至ル迄褐色ノ蛾ノ飛翔スルヲ發見セハ直ニ撲殺スヘシ
- 一 避債蟲ミノムシ(主ニ茶及桑ヲ害ス)
- 一 該蟲ハ自ラ巢ヲ造リ始終其中ニ潜伏シ朝夕人ノ居テサルハ害ヲナスニ由リ該蟲ノ巢アルヲ見レ

訓令第三十八號

訓令第三十七號

明治二十九年七月二十日

郡市役所
町村役場
市町村立小學校

- 一 ハ注意シテ之ヲ捕殺スヘシ
 - 一 該蟲ノ巢餘リ多キハ樹下ニ蓆ヲ布キ之ヲ叩キ下シ捕集シテ殺スヘシ
- 小學校生徒ヲシテ紀念ノ爲メ樹木ヲ栽植セシムルハ教育上最モ緊要ナルヲ認ム抑モ樹木ハ建築ノ用材薪炭ノ原料タルノミニ止ラズ國土ノ風致ヲ添ヘ防砂防風或ハ水源ヲ涵養シ旱害ヲ防遏スル等人生ニ裨益ヲ與フル誠ニ甚少ナラス而シテ栽樹ハ小學校生徒ヲシテ實業的ノ志想ヲ養ヒ浮薄ノ心情ヲ抑ヘ植物ノ妙味ヲ悟リ愛郷ノ誠意ヲ増シ兼テ自然ニ山林愛護ノ念ヲ煥發スルコトヲ得ヘシ依リテ左ニ其方法ヲ設ケ市町村立小學校ヲシテ該要項ニ準由セシメ之レカ實行ヲ努ムヘシ
- 一 市町村立小學校ニ於テ紀念ノ爲メ其土地適當ノ季節ヲ撰ヒ樹栽日ヲ定ムルヲ要ス
 - 一 樹栽日ニハ學校長教員樹木ノ効用培養ノ方法並ニ國土ト山林トノ關係等ヲ講話シ生徒ヲシテ森林愛護ノ念慮ヲ生セシムヘシ但當日ハ成ルヘク市町村長學務委員及父兄有志者ヲ立會セシムルヲ要ス
 - 一 苗樹ハ其土地ニ最モ適當ノモノニシテ利益アル樹木ヲ選擇スルヲ要ス
 - 一 樹木栽植地ハ學校講内運動場庭園若クハ學校所屬地市町村有地等ヲ充用シ又民有地ヲ借入ル、モ妨ケナシ
 - 一 市町村長及學務委員學校長教員ハ常ニ栽植シタル樹木ヲ監護シテ其繁茂ヲ圖リ且生徒ヲシテ便宜培養ノ勞ヲ執ラシムヘシ

- 一 栽植ノ樹木ヨリ生スル利益ハ學校基本財産ニ編入スルヲ要ス
- 一 栽植ニ關スル實施方法及其費用ハ市町村ニ於テ便宜之ヲ規定シ知事へ届出ツヘシ

訓令第三十八號

明治二十九年七月二十日

郡市役所
町村役場

本年訓令第三十七號ニ據リ小學生徒紀念樹栽法ヲ實施シタルトキハ市町村長ニ於テ毎年其成績ヲ調査シ一月二十日マテニ市ハ知事へ町村ハ郡長へ報告シ郡長ハ一覽表ヲ製シ翌月中ニ知事へ報告スヘシ

訓令第三十九號

明治二十九年七月二十日

郡市役所
町村役場

養子戸主又ハ寡婦タル女戸主其家名ヲ廢シ實家へ復籍ノ場合戸籍登記目錄ハ離婚送復籍ノ項ニ記スヘキ例ニ有之候處右ハ養方若クハ嫁家ト縁義ヲ斷絶スルモノニアラサルヲ以テ自今相續人離縁送復籍ノ項ノ次ニ廢家送復籍ノ項ヲ設ケテ登記スヘシ

訓令第四十一號

明治二十九年八月十七日

郡市役所
警察署
全分署
町村役場

赤痢病豫防方ノ義ニ付テハ從來流行ノ際ハ勿論平素ニ於ケル施設方法ニ關シ屢々訓令ニ及ヒ又一般人民ニ對シテモ度々諭告スル所アルヲ以テ一朝該病患者發生スルモ各自之ヲ遵守其遺策ナキヲ信セリ然ルニ本年赤痢病發生以來客月三十一日マテノ患者五百二人ニ及ヒ尙ホ日々三十名内外ノ發病者ヲ見ルハ甚々憂慮スヘキノ至リナリ之ヲ既往ニ徵スルモ未タ會テ如斯患者多數ヲ出セシコトナシ是レ畢竟其年ノ氣候ニモ關係アルヘシト雖モ亦主トシテ各自攝生上注意ノ如何ニ起因スルモノト思考ス願フニ前年其病災ニ罹リタル地方ニ於テハ偶々患者發生スルモ其甚シキ傳播ヲ見スシテ終熄スルモノ多キニ居ル右ハ其實驗ニ依リ自然用意周到ナル所アルノ結果ニ外ナカルヘシ果シテ然ラハ平素病患ノ有無ニ拘ハラズ各自ノ衛生心ヲ喚起發達セシメシコトヲ努ムルハ豫防上ノ最大要務ト謂サルヲ得テ而シテ本年ノ如キ流行ノ勢ヒ熾シナル兆候アルニ際シテハ到底尋常ノ手段ニ依リ防遏スルハ甚々至難ノ事トス故ニ此際醫會ト氣脈ヲ通シ衛生組合ヲ督勵シ隣保相互ニ扶持シ以テ豫防法ヲ勵行セシムルハ勿論患者ト健康者トニ於ケル隔離ヲ嚴ニシ其部落ニハ消毒の大清潔法ヲ行ヒ病毒ヲシテ他ニ傳播ノ虞ナカラス即チ之ヲ一人一家ノ始メニ於テ撲滅シ其蔓延ノ景況アル地方ハ特ニ醫師ヲシテ豫防救治ニ從事セシメ各協力一致其事ニ當リ速ニ豫防ノ實効ヲ奏スヘシ

訓令第四十四號

明治二十九年八月二十四日

郡市役所
町村役場

水利組合條例第八條ニ據リ普通水利組合設置ノ情願又ハ具狀アリタルキハ別紙書式ノ調書及區域圖面ヲ添付メシメ尙調査ノ上設置要否ノ意見ヲ副申スヘシ
但組合ノ區域ニテ町村以上ニ涉ルキハ關係ノ町村長連署シ又其區域ノ郡市若クハ敬郡ニ涉ルモノハ

關係ノ郡市長連署スヘシ
(別紙)

何々普通水利組合區域調査

郡市名	町村名	大字	字名

備考

一 町村内大字中其幾分ノ區域内ニ入ルモノハ何大字ノ内何々ト其字名ヲ大字名稱ニ掲クヘシ

何々普通水利組合區域内反別調査

(區域内ノ總反別ヲ掲ク)

一 總反別何程

此地價

内 課

田 何程

此地價

畑 何程

此地價

何々何程

此地價

備考

一 區域ノ數郡ニ涉ルモノハ各地種目ノ内譯ヲナシタル後郡別ノ内譯ヲナスモノトス

一 組合員タルヲ得ヘキ人員

備考

一 區域ノ數郡ニ涉ルモノハ郡別ノ内譯ヲナスモノトス

訓令第四十五號

明治二十九年八月二十四日

郡市役所

町村役場

絶家再興者退隱ノ上生家へ復籍ノ場合戸籍登記目錄ハ自今絶家再興送入籍ノ次ニ絶家再興者復歸送入籍ノ項ヲ設ケテ記載スヘシ

訓令第四十六號

明治二十九年八月二十四日

郡市役所

町村役場

沖繩縣華士族分家者族稱ノ儀ハ特別ノ事情アリテ去ル明治十七年一月該縣ニ於テ特ニ伺定ノ上士族ニ編入シ他府縣ヨリ轉籍シタル者ニモ之ヲ適用致來候處右ハ舊來ノ琉球人ニ限ル特例ニシテ他府縣ヨリ轉籍セシ者ニ適用スヘキモノニ無之ニ付若シ管内ニ於テ右ノ事由ニ因リ誤テ士族トナリタル者アラハ

此際平民ニ訂正方市町村長ヨリ事實ヲ具シ町村長ハ郡長ヲ經テ當廳ニ伺出ヘシ

訓令第四十八號

明治二十九年八月三十一日

郡市役所
町村役場

縣社以下神社所有ニ係ル版權、地所、建物、國債証券ハ商會社株券ノ類ニシテ向後新ニ登錄シ若クハ登錄ヲ變更スル場合ハ海テ該神社々務所ノ名義ニテ登錄ヲ請ケシムヘシ

訓令第四十九號

明治二十九年九月十五日

內務部
郡役所

明治二十九年三月訓令第十號明治二十九年三月訓令第十號降級入職出科目左ノ通追加ス

- 一 歳出經常郡吏員給料旅費及廳中諸費ノ款應費ノ項雜費ノ目中「訴訟費辨償金」ノ節ヲ追加ス
- 一 備荒儲蓄金歳入部備荒儲蓄金ノ款中「公債證券賣却代」ノ目ヲ追加ス

訓令第五十號

明治二十九年九月十五日

郡市役所
町村役場
市町村立小學校

市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法施行規則ニ據リ年功加俸ヲ受ケル小學校教員ハ滿五年毎ニ其月ニ於テ隨時別番機式勤續届調製市ハ市長郡ハ町村長ヲ經テ郡長ヘ差出スヘシ郡市長ハ精査調査ヲ遂

ケ知事ヘ届申スヘシ

年功加俸ヲ受ケル小學校教員ニシテ増俸減俸轉校休職退職ノ節ハ其都度郡市町村長ヲ經テ知事ヘ届出スヘシ

明治二十三年十月以降本月ニ至リ滿五年ノモノハ來二十八日限リ遅延セサル様本文ノ手續ニ依リ知事ヘ届出スヘシ

(様式)

(第一例)

勤續届

何郡(市)何々尋常(尋常)(高等)小學校

訓導(准訓導)(高等)上(下)給 氏 名

明治何年何月何日ヨリ肩書ノ學校准訓導ヲ命セラレ明治何年何月何日訓導ニ任セラレ明治何年何月何日ニ至リ勤續五年(何年)

右之通相違無之候也

年月日

知事宛

(第二例)

勤續届

何郡(市)何々尋常(尋常)(高等)小學校

訓導(准訓導)(高等)上(下)給 氏 名

明治何年何月何日何々郡(市)何々學校准訓導ヲ命セラレ明治何年何月何日訓導ニ任セラレ明治何年

何月何日何々ニ依リ退職(休職)(何々郡(市)何々學校訓導或ハ准訓導ニ轉ス)

此間何年何ヶ月

明治何年何月何日何々郡(市)何々學校訓導ニ任セラレ(准訓導ヲ命セラレ)明治何年何月何日ニ至ル
(轉任ノ時ハ明治何年何月何日ヨリ肩書ノ學校訓導ニ任セラレ「准訓導ヲ命セラレ」明治何年何月何日ニ至ル)

此間何年何ヶ月

通計勤続五年(何年)

右相違無之候也

年月日

知事宛

右

氏

名

印

訓令第五十一號

明治二十九年九月十五日

郡市役所

町村役場

市町村立小學校

市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法ニ據ル年功加俸支給方及請求手續左ノ通相定ム

年功加俸支給方及請求手續

第一條 年功加俸小毎月下旬支給スヘキニ據リ加俸受領者ハ其月二十一日(休日ニ當ル)ニ於テ第一號書式請求書ヲ調製シ市役所又ハ町村役場ヲ經テ本廳ヘ差出スヘシ

但轉校又ハ退職等ノ爲メ支給ヲ終ルモノハ期日ニ拘ラス差出スヘシ

第二條 同一學校内ニ二人以上年功加俸ヲ受クルモノアルトキハ受領者ノ便宜ニ據リ惣代ヲ以テ受領スルヲ得其場合ニハ第四號書式ニ依リ惣代人選定届書ヲ調製市役所又ハ町村役場ヲ經テ本廳ヘ差出スヘシ

但請求書ハ第二號書式ニ依リ調製スヘシ

第三條 年功加俸受領額事故ニ據リ過剩ヲ生シタルトキハ第三號書式ニ依リ返納書ヲ調製シ市役所又ハ町村役場ヲ經テ本廳ヘ差出スヘシ

第四條 市役所及町村役場ハ前條請求書又ハ返納書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ接受ノ日ヨリ二日以内ニ本廳ヘ送付スヘシ

第五條 年功加俸額計算上厘位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ之ヲ切捨ツヘシ

第六條 事故ニ據リ教員給料一ヶ月内支給セサルトキハ其時々市町村長ハ本廳ヘ報告スヘシ

第七條 第三條過剩返納金アルトキハ返納人ニ對シ本廳ヨリ告知書ヲ發付スヘキニ依リ該書指定ノ金庫ヘ納付スヘシ

(第一號)

年功加俸請求書

何郡(市)何尋常(高等)小學校

訓導(准訓導)上(下)給

何之姓

一金

但五ヶ年(又ハ)以上勤続年功加俸何年何月分

右請求候也

年月日 知事宛 右 何之誰 ㊦

備考

- 一 請求書及返納書用番ハ半紙普通罫紙ヲ用ヒ紙首三行ノ空罫ヲ存置スヘシ
- 一 字体ハ最モ端正ヲ要シ且改削塗抹ヲ禁ス若シ誤記等アルトキハ朱字ヲ以テ之ヲ更正シ誤記ニ係ル分ハ朱ヲ以テ二線ヲ畫シ認印ヲ爲スヘシ
- 一 金員ノ字數ハ壹貳參拾「貳拾」ノ字體ヲ用フヘシ
- 一 事故ニヨリ給料ヲ減額セラル、モ又ハ増給減給等ノ爲メ日割ヲ以テ計算スルトキハ其事由ヲ詳記スヘシ

(第二號)

年功加俸請求書

何之誰外何人惣代 何之誰

一金

但五ヶ年以上勤績年功加俸何年何月分

内 譯

年功加俸給學	校名	職名等級	氏名
何郡(市)何尋常 <small>(尋常)</small> <small>(高等)</small> 小學校		訓導上 <small>(上)</small> 級 <small>(下)</small> 給俸	何之誰

金	同	准訓導上 <small>(上)</small> 級 <small>(下)</small> 給俸	何之誰
金	同	、	、
金	同	、	、
金	同	、	、

(日割計) 備考何年何月何日病氣引籠三十日に至リタルニヨリ翌何日ヨリ

給料半減ニ付本月分給料何圓ニ對スル分

右請求候也

年月日 知事宛 右惣代 何之誰 ㊦

備考

- 一 勤績年數異ナルモノアルトキハ其年數同一ナルモノ毎ニ區別シ但書ヲ附記スヘシ

(第三號)

年功加俸返納書

何郡(市)何尋常(尋常)(高等)小學校 訓導(准訓導)上(上)級(下)給俸 何之誰

一金

但何ヶ年以上勤績年功加俸何年何月分金何圓受領ノ處何々ノ事故(詳記ス)ニヨリ何月分給料受

領額何圓ニ付本項ノ金額過剩ノ分
右返納可致候也

年月日
知事宛

右
何之誰

(第四號)

惣代人選定届

何郡(市)何尋常(高等)小學校訓導(准訓導)何之誰

拙者共年功加俸ハ前書氏名者ヲ惣代人ニ選定受領爲致候間此段及御届候也

何郡(市)何尋常(高等)小學校

年月日

訓導何之誰

訓導何之誰

、、之誰

知事宛

備考

一 惣代人交替スルトキハ直ニ其後任者ヲ選定届出ヘシ

訓令第五十二號

明治二十九年九月十五日

郡市役所
警察署

全分署
町村役場

水災後土地家屋ノ清潔法等ニ關シ本日諭達第三號ヲ發シタルニ就テハ其施行方法ノ義ハ便宜協議ノ上
此際充分ニ注意シ精々行届キ候様督勵スヘシ

訓令第五十三號

明治二十九年九月二十一日

郡市役所
町村役場

明治二十七年六月本縣訓令第四十一號農商務統計樣式會社票中拂込濟資本金ノ前ニ資本金總額ノ一欄ヲ
設ケ又合名合資ノ兩會社ニ在テハ從前ノ調査及報告ノ外ニ毎年六月三十日現在ヲ調査シ町村役場ハ其
年八月十五日限リ郡市役所ハ其年八月三十一日限リ報告スヘシ

訓令第五十五號

明治二十九年九月二十四日

郡市役所
町村役場

本年縣令第四十九號ニ據リ赤痢患者及疑似患者等其發病以外ノ地へ移轉ノ爲メ認可ヲ請フモノアルト
キハ附添看護人ノ適否移送途中ニ病毒散蔓ノ虞ナキヤ否ヤ等嚴密調査ヲ遂ケ支障ナキモノト認ムルト
キハ移轉ノ認許ヲ與フヘシ但認許シタルトキハ一面患者ノ住所氏名及病名ヲ其移轉先キ市町村長へ通
知シ一面移轉前患者所在地ノ警察官署又ハ巡查派出所駐在所ノ内へ通知スヘシ

訓令第五十六號

明治二十九年十月十二日

郡市役所
町村役場

陸地測量部測量標監守及亡失毀損其他異狀アルモノ届出方本年三月九日第九號ヲ以テ訓令及ヒ候處
右ノ場合ニ在テハ左記ノ各項ニ據リ調査シ届出ヘシ

- 一 建設所在地
- 一 何市(郡)何町(村)大字何字何ト記載ヲ要ス
- 一 点ノ等級番號
- 一 何等三角(水準)点第何號或ハ何々
- 一 測量標ノ種類
 - 標石、規標、標杭、板杭等亡失毀損セシモノ、種類明記ヲ要ス
 - 標石規標ノ建設アル測点ニシテ規標ノミ毀損亡失シタルキハ標石ニハ異狀ナキ旨附記スルヲ要ス
- 一 亡失毀損ノ事由及狀況
 - 天災地變又ハ人爲ニ因リ亡失毀損スル等其事由ヲ詳記シ併テ狀況(亡失シテ形跡ヲ止メヌ又ハ全部顛倒或ハ何々ノ部分毀損ス等其狀況ヲ明記シ標石ニ異狀アルキハ零圖ヲ添付シ)ヲモ附記スルヲ要ス

訓令第五十八號

明治二十九年十月十九日

内務部
警察部
郡役所

警察署
全分署
收稅署

本縣物品出納順序別冊ノ通改正ス
但別冊ハ別ニ頒ツ

第一章

總則

- 第一條 本縣所管ニ係ル物品ノ出納保管ハ法規命令ニ從ヒ此順序ニ依リ取扱フヘシ
- 第二條 物品ノ區分ハ物品出納規程第一條指定ノ備品消耗品ヲ類別シテ其品目ヲ定ムルモノトス
- 第三條 備品消耗品ハ保管上之ヲ分チテ専用共用ノ二種トス其専用トハ各自ニ使用スルモノ共用トハ共通使用スルモノヲ云フ
- 第四條 備品ノ供給ハ別ニ定ムル所ノ定數及品種ヲ以テ定限トシ消耗品ノ常用ニ係ルモノハ月額ヲ定メテ之ヲ供給ノ定限トスルモノトス
- 第五條 在來品ニシテ所定ノ品種ニ投合セサルモノアルトキハ常分代品トシテ之ヲ使用スルコトヲ得
- 第六條 特殊ノ事業ニ關シ第四條ノ規定以外ニ係ル備品ノ必要缺ク可ラザルモノアルトキハ其事由ヲ詳具シ知事ノ決裁ヲ請フヘシ
- 第七條 各課知事官房内務部各課及警察部保安課ヲ云フ以下皆全シ各課ニ二名以上ノ物品取扱委員ヲ置キ常該課共用物品ノ保管及需用品出納一切ヲ擔任セムヘシ
- 第八條 各課ニ於テ前條ノ物品取扱委員ヲ定メタルトキ若ハ變更シタルトキハ其都度該氏名ヲ物品會計官吏ニ報告スヘシ
- 第九條 知事室部長室ニ各一名ノ物品取扱委員ヲ置キ知事室ハ知事官房物品取扱委員部長室ハ部長付

屬ヲ以テ之ニ充テ需用品ノ保管及出納ヲ擔任セシム

第十條 各郡役所ニ物品取扱委員ヲ置キ郡書記ヲ以テ之ニ充テ各徵募區内ニ設置セル聯隊區徵兵署ノ需用品及犯則ニ係ル沒收物品ノ保管及出納ヲ擔任セシム

第十一條 前條ノ物品取扱委員ハ郡長之ヲ定メ其氏名ヲ物品會計官吏ニ報告スヘシ其變更シタルトキ亦同シ

第十二條 各警察署警察分署ニ各一名ノ物品取扱委員ヲ置キ其署長ヲ以テ之ニ充テ拾得物品及贓拾置物品ノ保管及出納ヲ擔任セシム

第十三條 物品取扱委員ハ物品會計官吏ノ指揮監督ヲ受クルモノトス

第十四條 物品取扱委員交替ノトキハ前後物品取扱委員帳簿ニ照シテ現品ノ受渡ヲ爲シ引續報告書ヲ作り物品會計官吏ニ差出スヘシ但前任物品取扱委員死亡其他ノ事故ニ依リ自身ニ引繼ヲ爲ス能ハサル場合ハ縣廳ニアリテハ當該課長郡役所ニアリテハ郡長ニ於テ撰定シタル他ノ吏員警察署警察分署ニアリテハ其次席吏員ノ立會ヲ得テ本條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十五條 總テ物品ノ請求返納證明報告等ハ縣廳ニアリテハ當該課長郡役所ニアリテハ郡長ヲ經由スルモノトス

第二章

出納

第十六條 左ニ掲クル物品ノ出納ハ物品出納規程第六條ニ依リ物品會計官吏ヲシテ專行セシム

- 一 物ノ受入
- 二 規定備品ノ供給及常用消耗品ノ拂出
- 三 生産ノ爲メノ拂出

四 拾得品贓拾置品沒收物品ノ拂出

第十七條 凡ソ購入轉入生産等ノ物品ハ證書ニ照シ物品會計官吏ノ認可ヲ得テ之ヲ受領シ其數量價格等ヲ帳簿ニ記入スヘシ

第十八條 物品ノ交付ヲ受ケントスルトキハ備品及消耗品ノ内特殊ノ用途ニ充ツルモノハ所要ノ都度常用消耗品ハ豫定月額ヲ以テ毎月一日休日ニ當ルトキハ其翌日第四課ニ備ヘアル物品請求簿ニ品目數量需用ノ事由等ヲ式ノ如ク記入捺印シテ其交付ヲ請求スヘシ

第十九條 收稅署ニ於テ要スル物品府縣設ニ屬スルモノハ所要ノ都度其署長ニ於テ品目數量及需用ノ事由ヲ詳記シタル請求書ヲ作り第四課ニ送附シ該物品ノ交付ヲ受ケタルトキハ直ニ領收證書ヲ差出スヘシ

第二十條 第四課ニ於テ物品ノ請求ヲ受ケタルトキハ其需用ノ當否其他必要ノ事項ヲ調査シ相當ト認ムルモノニシテ第十六條ニ定メタル範圍内ノモノハ物品會計官吏ノ認可其他ハ知事ノ決裁ヲ得テ之ヲ交付シ其共用ニ係ルモノハ物品取扱委員專用ニ係ルモノハ各自ヨリ交付簿備品ニ限ル又ハ請求簿ニ受領消印ヲ徴シ其時々帳簿ヘ記入スヘシ但第十九條ノ場合其他遠隔ノ地ニ物品ヲ送附シタルモノキハ其領收證書ヲ得テ記帳ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十一條 徵兵署ニ於テ要スル物品ハ物品取扱委員郡長ノ認可ヲ得テ受拂ヲ爲スヘシ

第二十二條 前條ノ物品中消耗品ニシテ各自専用ニ係ルモノハ各自ノ領收證書ヲ徴シ共用ニ係ルモノハ物品取扱委員自ラ領收證書ヲ差出スヘシ但備品ハ總テ共用トシ各自ニ受けセス物品取扱委員之ヲ保管スヘシ

前項備品消耗品ノ領收證書ハ明治二十九年七月第二百二十九號訓令國庫經濟ニ屬スル物件賣買貸借修繕手續第二十六條第二項ノ注文傳票ト共ニ内務部第四課ニ移送スヘシ

第二十三條 蠶種檢査所土木出張所等ニ於テ要ル物品ハ當該課物品取扱委員第十八條ノ手續ニ依リ之

ヲ請求シ檢査所出張所等ニ送附シ當該課出張員^{出張員二名以上ナリ}ハ其上席者ヲシテ之レカ出納及保管ノ責ニ任セシムヘシ但隔離スル各檢査所出張所等ノ要品ニシテ當該課物品取扱委員ニ於テ本條ノ手續ニ依リ難キ場合ハ該出張員ニ於テ直ニ取扱フヘシ此場合ニ於ケル手續ハ第十九條ニ準スヘシ

第二十四條 旅行用行李等一時ノ使用ニ供スルモノハ第四課ニ就キテ其携帶スル書類物件ノ調査ヲ受ケ且請求簿ニ式ノ如ク記入捺印シ其貸與ヲ求ムヘシ

第二十五條 職員在勤課等ヲ轉スルトキ從前受領ノ專用物品ヲ變用セントスルトキハ甲課ニ於テハ返附ノ手續ヲ爲シ乙課ニ於テハ更ニ受領ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十六條 交付ヲ受ケタル物品ノ不用ニ屬シ若ハ毀損シタルトキハ第四課ニ備ヘアル返納簿ニ其品目數量及事由等ヲ式ノ如ク記入捺印シテ第四十二條ノ證明書ト共ニ現品ヲ第四課ニ返附スヘシ但燒隔ノ地ニアルモノハ品目數量及事由等ヲ記載シタル返納書ヲ作り本條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十七條 徵兵署ノ毀損物品ニシテ修理ス可ラサルモノ又ハ不用ニ屬シタル物品及犯罪犯則ニ係ル沒收物品ニシテ毀損若ハ腐朽シタルモノハ郡役所物品取扱委員ニ於テ其品目數量及事由ヲ詳記シタル報告書ヲ作り其毀損若ハ腐朽シタルモノハ第四十二條ノ證明書ト共ニ郡長ノ檢閲ヲ經テ物品會計官吏ニ報告スヘシ其物品ヲ亡失シタルトキ亦同シ

拾得品賊捨置品ノ毀損腐朽若ハ亡失シタルトキハ警察署警察分署物品取扱委員ニ於テ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十八條 各自專用ニ係ル備品ノ請求返納ハ總テ當該課物品取扱委員ヲ經由スルモノトス

第二十九條 第四課ニ於テ第二十六條ニ依リ不用又ハ毀損物品ノ返附ヲ受ケタルトキハ返納簿(若ハ返納書)證明書等ニ照會シ之ヲ受領シ物品會計官吏ノ檢閲ヲ經テ帳簿ニ記入スヘシ

第三十條 第四課ニ於テ返附ヲ受ケタル物品ニシテ毀損ニ係ルモノハ毀損品書留簿ニ記入シ置キ其

修理シ得ヘキモノハ其手續ヲ爲シ他日ノ需用ニ供シ否ラサルモノ及不用ニ屬スルモノハ物品出納規程第二十三條ニ依リ處分ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十七條ニ依リ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ其毀損シテ修理ス可ラサルモノ若ハ不用ニ屬スルモノハ前項ニ依リ處分ノ手續ヲ爲スヘシ但其處分確定シタルトキハ物品會計官吏ヨリ當該物品取扱委員ニ通告スヘシ

第三十一條 修理ノ爲メ物品ヲ庫出シタルトキハ修繕品書留簿ニ記入シ置キ修理済領收シタルトキ全簿及關係帳簿ニ記入スヘシ

第三十二條 毀損若ハ亡失ニ係ル物品ハ第四十三條若ハ第四十四條ニ依リ證明書ノ認定ヲ經タルトキ又ハ處分ノ確定シタルトキ其認定書若ハ決議書ニ基キ物品會計官吏ノ認可ヲ得テ拂出ノ記帳ヲ爲スヘシ但第二十七條ニ依リ報告ヲ受ケタルモノハ其認定若ハ處分ノ確定シタルトキ物品會計官吏ヨリ當該物品取扱委員ニ通告スヘシ

第三章

保管責任

第三十三條 交付ヲ受ケタル物品ニシテ各自專用ニ係ルモノハ各專用者其共用ニ係ルモノハ當該物品取扱委員保管ノ責ニ任スヘシ

第三十四條 知事室部長室徵兵署ノ物品及犯罪犯則ニ係ル沒收物品拾得物品賊捨置物品ハ各其物品取扱委員保管ノ責ニ任スヘシ

第三十五條 圖書ハ第一課庶務係主任應接所職員扣席人員扣所職員宿直所等ノ物品ハ第四課調度係主任之レカ保管ノ責ニ任スヘシ

第三十六條 一ヶ所ニ物品取扱委員二名以上アルトキハ其責任ハ連帶トス

第三十七條 物品取扱委員ハ第三十三條各自保管ノ專用品ト雖ドモ其取締上ニ關シテハ責任アルモノ

トス

第三十八條 物品ハ各課各係若ハ職員各自ニ於テ互ニ受持貸借スルコトヲ得ス

第三十九條 凡ソ物品ハ品種數量ヲ明瞭ニシ鎖鑰アル倉庫若ハ備付ノ場所ニ於テ保護スヘシ

第四十條 物品貯藏ノ倉庫ハ物品會計官吏若ハ物品會計官吏ノ委任シタル官吏ノ臨場アルニテ
レハ開閉スルコトヲ得ス其鎖鑰ノ鍵ハ物品會計官吏之ヲ保管スヘシ

第四十一條 貯藏ノ物品ハ毎月一回物品出納簿ニ照合シテ其現在品ヲ点檢スヘシ

第四十二條 保管ノ責アルモノニ於テ物品ヲ亡失若ハ毀損シタルトキハ其品目數量及其亡失若ハ毀損
シタル事實ヲ詳悉シタル證明書ヲ作り其時々第四課ニ送付スヘシ

直接保管ノ責ナキモノト雖モ物品ヲ亡失若ハ毀損シタルトキハ仍ホ前項ニ依ルヘシ

第四十三條 前條ノ證明書ハ第四課ニ於テ審査シ知事ノ認定ヲ受クヘシ

第四十四條 第四十二條ノ場合ニ於テ若シ物品出納規程第十九條第二十條ニ依リ辨償ノ責アルトキハ
其顛末ヲ詳查シ相當代價ヲ定メ知事ノ決裁ヲ請フヘシ

第四十五條 前條ニ依リ處分シタル場合ニ於テ第四十二條第二項ニ該當スルモノヲシテ辨償セシメタ
ルトキハ全條第一項直接保管ノ責アルモノハ其物品ニ對スル代價ノ辨償ヲ免ルコトヲ得

第四章 帳簿

第四十六條 第四課ハ物品出納規程第十三條ニ依リ左ノ帳簿ヲ備ヘ出納一切ヲ登記スヘシ

一 備品出納簿

二 消耗品出納簿

三 動物出納簿

四 藥品檢査器械及藥品類出納簿

五 諸證券出納簿

六 拾得品及賊捨置品出納簿

七 沒收物品出納簿

第四十七條 前條ノ外左ノ補助簿ヲ設クルモノトス

一 毀損亡失品書留簿

二 修繕品書留簿

三 賣却品書留簿

四 貸與品書留簿

五 回送物品書留簿

第四十八條 各課ノ物品取扱委員ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ其受拂ヲ登記スヘシ但本條ノ外ニ郵便切手類遺拂
ニ係ル郵便電信發遣簿ヲ設ケ發遣場所及切手類ノ金額ヲ登記スルハ従前ノ例ニ依ル

一 備品各自内課簿

二 消耗品受拂簿(郵便切手類ヲ除ク)

三 郵便切手類受拂簿

第四十九條 知事室部長室ノ物品取扱委員ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ其受拂ヲ登記スヘシ

一 備品現在簿

第五十條 郡役所ノ物品取扱委員ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ其受拂ヲ登記スヘシ

一 徴兵署備品現在簿

二 全、消耗品受拂簿

三 沒收物品受拂簿

第五十一條 警察署警察分署ノ物品取扱委員ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ其受拂ヲ登記スヘシ

一 拾得品受拂簿

二 賊捨置品受拂簿

第五章

報 告

第五十二條 警察署警察分署ノ物品取扱委員ハ記籍ノ結果ニ依リ毎月左ノ計算表ヲ調製シ物品仕拂證
明書ヲ添ヘ翌月七日マテニ物品會計官吏ニ差出スヘシ

一 拾得品受拂表

二 賊捨置品受拂表

第五十三條 郡役所ノ物品取扱委員ハ記簿ノ結果ニ依リ毎月左ノ計算表ヲ調製シ郡長ノ檢閲ヲ經テ翌
月七日迄ニ物品會計官吏ニ差出スヘシ

一 沒收物品受拂表

第五十四條 前條ノ受拂表ニハ收稅署ノ引繼書及買受人ノ領收證書ヲ添付スヘシ

第五十五條 郵便切手類ヲ取扱フ物品取扱委員ハ毎月受拂計算表ヲ調製シ翌月七日マテニ物品會計官
吏ニ差出スヘシ但便宜郵便切手類受拂簿ヲ差出シ査閲ヲ受クルモ妨ケナシ

第五十六條 第四課毎年度物品出納規程第二十二條ニ依リ物品出納計算書ヲ調製シ證據書類ヲ添ヘ物
品會計官吏ヲ經テ知事ノ下檢査ヲ受ケ年度經過后五ヶ月以内ニ會計檢査院ニ進達スヘシ

第六章

檢 閲

第五十七條 使用中ノ物品ハ毎年三回以上物品會計官吏ニ於テ其現品ヲ点檢スヘシ但必要アリト認ム
ルトキハ臨時点檢スルコトヲ得

第五十八條 毎年度物品檢閲委員ヲ命シ左ノ各項ヲ檢閲セシム

一 物品出納ニ關スル帳簿ノ整否

二 備品定數ノ過不足

三 消耗品消費ノ當否

四 物品保管ノ實況

五 倉庫貯藏品ノ現數

六 其他必要ト認ムル事項

第五十九條 物品檢閲委員ハ物品會計官吏第四課調度係主任物品取扱委員其他物品出納若ハ保管ノ責
アルモノヲシテ質問ニ對シ辨明ヲ求メ又ハ書面ヲ差出サシムルコトヲ得

第六十條 物品檢閲委員ハ檢閲了リタルトキ其狀況ヲ知事ニ具申スヘシ

附 則

第六十一條 本順序ハ明治二十九年十一月一日ヨリ施行ス

愛知縣物品出納順序附錄

- 第一 書式中命令官ノ罫畫アルモ出納順序第十六條規定以外ノ内ヲ爲ス場合ニ決判ヲ受クヘキモノトス
- 第二 書式中請求者所屬課長ノ印トアルモノ又ハ出納順序第十五條課長若ハ其代理者トアルハ知事官房ニ於テハ上席書記若ハ其代理者トス
知事室部長室物品取扱委員ニ於テ請求スルモノ及出納順序ニ依リ全委員ニ於テ調製スル書面ニハ請求者所屬課長ノ印ヲ要セス又請求簿ノ如キハ各課ニ係ルモノト各別ニ調製スルモノトス
- 第三 帳簿ニハ單位ノ稱ニ一位ヲ記シ之ヲ數量ノ最下トナシ以テ登記スルヲ通常トス
- 第四 書式中用紙ヲ指定セサルモノハ適宜ノ用紙トス
- 第五 書式中△印ヲ付スルモノハ總テ朱字トス
- 第六 帳簿ニ依リ計算及報告書等ヲ作リタルトキハ彼是對照査算スヘシ
- 第七 計算報告書請求書及領收證書類ノ數量價格等誤記訂正ノ庶ヘハ必ズ捺印ヲ爲スヘシ

書式目次

第一號	物品引續濟報告書	取扱順序	第十四條
第二號	消耗品請求簿	全	第十八條
第三號	備品請求簿	全	第十八條
第四號	生産原料品請求簿	全	第十八條
第五號	備品交付簿	全	第二十條
第六號	貸與品請求簿	全	第二十四條
第七號	返納簿	全	第二十七條
第八號	物品請求書	全	第二十九條
第九號	物品領收證書	全	第二十九條
第十號	返納書	全	第三十七條
第十一號	毀損亡失物品報告書	全	第三十八條
第十二號	不用物品報告書	全	第三十八條
第十三號	毀損亡失物品證明書	全	第四十二條
第十四號	備品出納簿	全	第四十六條
第十五號	消耗品出納簿	全	第四十六條
第十六號	動物出納簿	全	第四十六條
第十七號	諸證券出納簿	全	第四十六條
第十八號	拾得品贓拾置品出納簿	全	第四十六條

第十九號	沒失物品出納簿	全	第四十六條
第二十號	藥品檢査器械及藥品出納簿	全	第四十六條
第二十一號	毀損亡失品書留簿	全	第四十七條
第二十二號	修繕品書留簿	全	第四十七條
第二十三號	賣却品書留簿	全	第四十七條
第二十四號	貸與品書留簿	全	第四十七條
第二十五號	廻送品書留簿	全	第四十七條
第二十六號	備品各自内譯簿	全	第四十八條
第二十七號	消耗品受拂簿	全	第四十八條
第二十八號	郵便切手類受拂簿	全	第四十八條
第二十九號	備品現在簿	全	第四十九條
第三十號	徵兵署備品現在簿	全	第五十條
第三十一號	全 消耗品受拂簿	全	第五十條
第三十二號	沒收物品受拂簿	全	第五十一條
第三十三號	警察拾得品受拂簿	全	第五十一條
第三十四號	賊拾置品受拂簿	全	第五十一條
第三十五號	警察拾得品受拂表	全	第五十二條
第三十六號	賊拾置品受拂表	全	第五十二條
第三十七號	沒收物品受拂表	全	第五十三條
第三十八號	郵便切手類受拂表	全	第五十三條

第一號書式(用紙半紙單紙) 備考 郡役所ニアリテハ郡長ノ認印ヲ受クルモノトス
 ○課長ノ認印 物品引繼濟報告書

現在物品ハ明治何年何月何日帳簿ノ現在高ニ照シ引繼結了致候此段及報告候也

第何課(何々)

前任 物品取扱委員 官 氏 名 印
 後任 物品取扱委員 官 氏 名 印

物品會計官吏宛

第二號書式

備考

- 一 本簿ハ一年度限調製スヘシ
- 二 本簿ハ物品ノ種目毎ニ口坐チ股クルモノトス
- 三 同時ニ數人ノ請求アルトキハ數量ニ小計チ付シ之ニ命官物品管計官吏ノ決判ヲ受ケルモ妨ケナシ
- 四 本簿ハ毎日其交付數量ヲ合計シ之ニ依リ出納簿ニ登記スルモノトス但し其交付數量一口ナルトキハ合計チ付スルヲ要セス
- 五 本簿ハ年度終結シタルトキ八年計チ未記シ出納簿ト對照チ便ナラジムヘシ

明治何年度何課(何々)

消耗品請求書

內務部第四課

官印	命令物品會計官吏	調度係 調查印 主任印	請求月日	請求者所 課長印	名稱 數量 事由	請求者姓名印	交付月日	領取 認領印
	○	○	何月何日	○	何々何程何々用(事田詳記)	何某	何月何日	○

第三號書式

備考

- 一 本簿ハ一年度限調製スヘシ
- 一 物品取扱委員共用品ヲ請求スルトキハ物品取扱委員印ノ欄ニハ認印ヲ要セス

明治何年度何課(何々)
備品請求簿

内務部第四課

命令 官印			物品 附官 印 官吏			調度係 調査印 主査印		請求月日		請求者所 属課長印		物品 取扱 委員 印		品名		數量		事由		請求者氏名印		交付月日		記帳 印	
○			○			○		何月何日		○		○		何々		何程		何々用(事由詳記)		何某印		何月何日		○	

第四號書式

備考

- 一 本簿ハ一年度限調製スヘシ
- 二 本簿ハ物品ノ種目毎ニ口坐ヲ設ケルモノトス
- 三 生産納入アリタルトキハ本簿ニ生産月日ヲ記入スヘシ
- 四 本簿ハ年度終結シタルトキ年計ヲ彙記スルモノトス

明治何年度

生産原料品請求簿

内務部第四課

<input type="checkbox"/>	物品會 計官 印	調度係 調査印 主査印	請求月日	品名	數量	生産目的	<input type="checkbox"/>	請求 印	受領者氏名	<input type="checkbox"/>	受領 印	交付月日	<input type="checkbox"/>	配帳 印	生産月日
<input type="checkbox"/>			何月何日	何々	何程	何々(目的詳細)	<input type="checkbox"/>	何	某	<input type="checkbox"/>	何月何日	<input type="checkbox"/>	何月何日		
<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>							<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>					

第五號書式(用紙厚質美濃紙)

備考

- 一 本簿ハ數年度繼續使用シ之ヲ新調スルトキハ其現在ヲ轉記シ薄帳ヲ消印シ更ニ新帳ニ證印セシムルモノトス
- 二 本簿ハ物品ノ種目毎ニ口坐ヲ設ケ一個一筆ニ記載スヘシ但番號ナキモノハ數個一筆ニ記載スルモノトス
- 三 遠隔ノ地ニアルモノニシテ本簿ニ證印セシムル難キモノハ領收簿消印ノ欄ニ證書第何號ト記シ領取證書ノ番號照合ヲ便ニスヘシ

何課(何々)

備品交付簿

內務部第四課

物品番號	品名	數量	交付年月日	使用目的	保管者氏名	返納年月日	備考
------	----	----	-------	------	-------	-------	----

第何號	何々	一個	何年何月何日	何々用	取扱委員(專用者) 何 某	○	何年何月何日	備考

貸與品請求簿

內務部第四課

<input type="checkbox"/>	物品會 計官印	調查印	請求年月日	所請 長印	品名	數量	事由 (詳記)	借受人氏名印	何 某○	何年何月何日	貸付年月日	記帳印
<input type="checkbox"/>												
<input type="checkbox"/>												
<input type="checkbox"/>												
<input type="checkbox"/>												
<input type="checkbox"/>												
<input type="checkbox"/>												
<input type="checkbox"/>												
<input type="checkbox"/>												
<input type="checkbox"/>												
<input type="checkbox"/>												
<input type="checkbox"/>												
<input type="checkbox"/>												
<input type="checkbox"/>												
<input type="checkbox"/>												

第七號書式

備考

- 一 消耗品其他ノ返納簿ハ本書式ニ依リ調製スヘシ但番號ノ欄ヲ要セス
- 二 本簿ハ一年度限調製スルモ數年度繼續スルモ適宜タルヘシ
- 三 本簿ハ一個一筆ニ記載スヘシ但番號ナキモノハ數個一筆ニ記載スルモノトス
- 四 物品取扱委員共用品ヲ返納スルトキハ物品取扱委員印ノ欄ニハ認印ヲ要セス

何課(何々)

備
耗
品
返
納
簿

内務部第四課

物品會 計官 印	調 度 係 調 査 印	主 査 印	返納年月日	返納 所 長 印	物品取 扱委員 印	品名	物品番號	數量	事由	返納人氏名印	記帳印
○	○	○	何年何月何日	○	○	何々	第何號	一個	何々	何 某	○

第八號書式(用紙半紙野紙)

備考

- 一 本書ハ品名毎ニ各別ニ調製スヘシ
- 二 本書ハ紙首三行ノ空處ヲ存スヘシ

備品(消耗品)(何々)請求書

一何々

何程

但何々用(使用ノ目的ヲ詳記ス)

右御渡相成度候也

何署(何々)

年月日

官 氏 名 印

物品會計官吏宛

第九號書式(用紙半紙野紙)

備考

- 一 本書ハ品名毎ニ各別ニ調製スヘシ
- 二 備品中番號アルモノ、領收證書ハ一個一筆ニ記載スヘシ

備品(消耗品)(何々)領收證

第何號(物品番號但番號ナキモノハ之ヲ要セス)

一何々

一個

但何々用

第何號

一何々

一個

但何々用

右取領候也

何所(何々)(物品取扱委)

員專用者)

年月日

官 氏 名 印

物品會計官吏宛

第十號書式(用紙半紙扉紙)

備考 一 本書ハ品名毎ニ各別ニ調製スヘシ
二 本書ハ紙首三行ノ空扉ヲ存スヘシ

備品(消耗品)(何々)返納書

第何號(物品番號但番號ナキモノハ之ヲ要セス)

一何々

何程

但不用(何々返納ノ事由)ニ付返納ノ分

右返納候也

何所(何々)(物品取扱委員專用者)

官 氏 名 印

年月日

物品會計官吏宛

第十一號書式

備考 警察署全分署物品取扱委員ニ於テ
調製スル報告書モ本書式ニ依ル

○部長ノ認印 備品(消耗品)(何々)毀損(亡失)報告書

第何號(物品番號但番號ナキモノハ記載ヲ要セス)

一何々

何程

一何々

何程

右ハ數年使用セシ爲メ毀損シ將來修理シテ使用スルノ見込之レ無キモノ又ハ何々ニ依リ腐朽或ハ毀損
(亡失)候ニ付證明書相添及報告候也

何郡役所(何々)

物品取扱委員 官 氏 名 印

物品會計官吏宛

第十二號書式(用紙半紙野紙)

○課長認印 備品(消耗品)(何々)不用報告

第何號(物品番號但番號ナキモノハ記載ヲ要セス)

一何々

一何々

但何々ニ依リ不用(事由詳記)

右及報告候也

何郡役所

物品取扱委員 官 氏 名 印

年月日

物品會計官吏宛

第十一號書式

第十三號書式(用紙半紙野紙)

○課長認印 物品毀損(亡失)證明書

第何號(物品番號但番號ナキモノハ記載ヲ要セス)

一何々

備考

三二一 本書ハ品名毎ニ各別ニ調製スヘシ
本書ハ紙首三行ノ空所ヲ存スヘシ
本書課長ノ認印ハ郡役所ニアリテハ課長ノ認印ヲ受
クルモノトス

何程

右ハ數年使用セシ爲メ自然何々毀損又ハ何々ニ依リ腐朽或ハ毀損(亡失)ス(毀損若クハ亡失ノ事由ハ事實ニ依リ詳悉スルヲ要ス) 右證明候也

何課(何々)物品取扱委員(專用者)

官 氏 名 印

年月日

年 月 日		摘 要	品 目

數 量	代 價		類 未

修繕品交付年月日及其受頁人			修繕濟年月日	
年	月	日	受頁人住所氏名	

第二十三號書式

賣却品書留簿

愛 知 縣

第二十二號書式

修繕品書留簿

愛知縣

缺損年月日	品目	數量	修繕費

年 月 日		摘 要	品 目

數 量	價 格	類 別

毀損亡失品書留簿

愛 知 縣

價 格	拂		殘	價 格
	消 耗	何 々		

第二號書式

藥品検査用
藥品類出納簿

愛知縣

備考 本簿ハ各品名毎ニ口坐ヲ設クルモノトス

年月日	摘要	受		
		越 高	購 入	何 々

年月日		摘要	受		
			越 高	購 入	價 格

三三

拂			現 在	
毀 損 亡 失	何 々	價 格	供 用	在 庫

三三

收税署ヨリ引継高	拂			残
	衷 拂	何 々	價 格	

第二十號書式甲

藥品検査器械出納簿

備考

ニ一 本簿ハ各品名毎ニ口坐ヲ設クヘシ
 本簿ハ其現在ノ更ニ新帳ニ轉即スルモノト
 スキハ其現在ノ更ニ新帳ニ轉即スルモノト
 ス

愛 知 縣

第十九號書式

沒收物品出納簿

愛 知 縣

備考

本簿ハ沒收物品ヲ數目ニ區別シ各目毎ニ口坐
ヲ設ケ且其品名ヲ相當欄ニ記入スルモノトス

年月日		摘要	受	
			品名	数量

何々				
年月日	摘要	受		
		数量	数量	格

三四七

何々				
年月日	摘要	拂		
		数量	数量	格

三四八

第十八號書式

警察拾得品出納簿

備考

二一

此簿は拾得品の出納簿に依りて此書式ニ依ルヘシ
拾得品ハ遺失物或ハ拾得品ハ賊拾得品ノ口坐
ヲ取付テ登記スルモノトス

愛 知 縣

三百八

拂			殘		
數	量	價 格	數	量	價 格

三百九

第十七號書式

表

簿證券出納簿

愛知縣

三十五

年月日	摘要	受	
		数量	價格

三十五

年 月 日	摘 要	受	
		数 量	價 格

拂			現 在
賣 却	何 々	價 格	

動物出納簿

愛知縣

備考

二一

本簿ハ名稱毎ニ口坐ヲ設クヘシ
其現在ヲ更ニ新帳ニ轉記スルモノトス

在庫

拂

耗							何々	何々	
第一課	第二課	第三課	第四課	第五課	何々	計			

第十五號書式

消耗品出納簿

愛知縣

備考

二一

本簿ハ一年度限調製スヘシ
本簿ハ各品目毎ニ口坐ヲ設クルモノトス

何々

年月日	摘要	受					消		
		越高	買入	何々	價格		知事官房	書記官室	何々
					円	銭			

何々

年月日	摘要	受		拂		供		
		数量	價 格	毀損亡失	何々	價 格	知事官房	書記官室

三百十九

現 在

用 申

在庫 價 格

何々	第一課	第二課	第三課	第四課	第五課	何々	何々	何々	計	在庫	價 格

三百十八

第十四號書式

備品出納簿

備考

一 本簿ハ數年度繼續使用シ之ヲ新調スルトキ
ハ其現在ヲ更ニ新帳ニ轉記スルモノトス
二 本簿ハ各品名毎ニ口坐ヲ設クルモノトス

愛知縣

第二十四號書式(用紙美濃紙)

貸與品書留簿

愛知縣

年月日	摘要	品名	個數	貸出年月日	借受人氏名	返付年月日
何年何月何日	何々用	何々	何個	何年何月何日	何 某	何年何月何日

三百二十三

第二十五號書式(用紙美濃紙)

備考 本簿ハ各品名毎ニ口坐チ段クルモノトス

回送品書留簿

愛知縣

三百二十三

品名 何々	年月日		摘要	回送數量	回着數量	未着數量
	何年何月何日	何々所へ回送				
	何年何月何日	何々所ヨリ領收證書				
				一〇		一〇
					一〇	

呼稱ノ位單

第二十六號書式(用紙美濃厚質)

備品各自内譯簿

備考

- 一 本簿ハ數年度繼續使用シ之ヲ新調スルトキハ其現在ヲ轉記スルモノトス
- 二 本簿ハ保管者人別限口座ヲ設クルモノトス
- 三 本簿ハ一個一筆ニ記載スルモノトス

知事官房(何課)

物品番號	品名	個數	受取事由及年月日	返納事由及年月日

(專用者)
 (共用品保管者) 官 氏 名
 (應接所(何々)備付品保管者)

第二百二十六號式

三

第二十七號書式

何年度
 消耗品受拂簿

備考
 一 本簿ハ各品名毎ニ口坐ヲ設クルモノトス
 二 本簿ニ登記スヘキ消耗品ハ共用品ニ限ル
 三 本簿ハ一ヶ月毎ニ合計テ一年度終結シタルトキハ年計ヲ朱記スルモノトス

知事官房(何課)

呼稱ノ位單

年月日	摘要	受	高	拂	高	殘	高
何年何月何日 、 、 、 、							

第二十八號書式

何年度
郵便切手類受拂簿

備考

- 一 本簿ハ一年度限調製スルモノトス
- 二 本簿ハ切手類ノ種類毎ニ口坐ヲ設クルモノトス
- 三 本簿ハ枚數ヲ以テ受拂ヲ登記シ摘要欄内ニ金額ヲ掲
記スルモノトス
- 四 本簿ハ一ヶ月毎ニ其月ノ合計ヲ一年度終結シタルト
キハ年計ヲ未記スルモノトス

知事官房(何課)

切手種類 (何々) <small>貳錢切手</small>		年月日	摘要	受	高	拂	高	殘	高
何年何月何日	第四課ヨリ受		金高六圓	三〇〇				三〇〇	
全何月何日	何々始メ郵便發遣		金高四拾錢		二〇			三八〇	

第二十九號書式

備品現在簿

第二十九號書式

備考

- 一 本簿ハ各品名毎ニ口坐ヲ設クルモノトス
- 二 本簿ハ一個一筆ニ記載スヘシ但當號ナキモノハ數個一筆ニ記載スルモノトス

知事室(部長室)

何々	品名
----	----

何年何日	年月日
------	-----

越	摘要
高	

第何號	物品番號
第何號	
第何號	

一	保管品
---	-----

一	除保品
---	-----

一	改保品
---	-----

二	管貯品
三	備考

三百三十一

呼稱ノ位單

何年何日	何年何日	何年何日	何年何日	何年何日	何年何日	何年何日	何年何日	何年何日
						△		

...

...

第三十號書式

徵兵署備品現在簿

何郡役所

- 備考
- 一 本簿ハ各品名毎ニ口坐ヲ設クルモノトス
 - 二 本簿ハ數年度間繼續使用スルモノトス
 - 三 本簿ハ一個一筆ニ登記スルモノトス

三百三十三

呼稱ノ位單

何々	品名	年月日	摘要	年調月製	番物號品	數買	數入	數賣	數却	數亡毀損	現在保存	備考
		何年何月何日	越	何年何月	一號						一	何年何月亡失
		全 何月何日	買	何年何月	二號		一				二	何年何月賣却
		全 何月何日	亡		一號					一		何年何月認定濟通知ヲ受ク
		全 何月何日	買		三號		一					
		全 何月何日	全		四號		一					
		全 何月何日	全		五號		一					
		何年何月何日	賣		二號			一			三	
			却									

三百三十四

第三十一號書式

徵兵署消耗品受拂簿

備考

- 一 本簿ハ各品名毎ニ口坐ヲ設ケルモノトス
- 二 本簿ハ一ケ年度限調製スルモ數年度間繼續スルモ妨ケナシ
- 三 本簿ハ一ケ年度終結ノタルトキハ受拂年計ヲ表記スルモノトス

何郡役所

三百三十五

呼稱ノ位單

何々		品目		年月日	摘要	數量	價	格	數量	價	格	數量	價	格
何年何月何日	何某ヨリ買受	何年何月何日	何某ヨリ買受											
全	何月何日	全	何月何日											

第三十二號書式

沒收物品受拂簿

	<p>備考</p> <p>一 本簿ハ各品名毎ニ口座ヲ設クルモノトス 二 本簿ハ一ケ年度限調製スルモ數年度繼續スルモ妨ケ ナシ 三 本簿ハ一ケ月毎ニ其月ノ合計ヲ未記シ一ケ年度終結 シタルトキハ年計ヲ未記スルモノトス</p>
--	--

何郡役所

遺失物	品目	年月日	摘要	受取		拂戻		現在	
				数量	金額	数量	金額	数量	金額

		何年何月何日	、、、、	三	三〇〇〇			三	三〇〇〇
		何年何月何日	、、、、	六	二〇〇〇			九	五〇〇〇
		全何月何日	、、、、	七	一五〇〇			一六	二〇〇〇
		全何月何日	、、、、			一〇	一〇〇〇	一六	一〇〇〇
		全何月何日	、、、、			二	六〇〇	四	四〇〇
		何月中合計		二六	一〇〇〇〇	三三	一六〇〇〇		
		全何月何日		一	〇			五	四〇〇

三百四十一

第三十四號書式

賊捨置品受拂簿

備考

- 一 本簿ハ名ノ何レヲ問ハス賊捨置品ノ目ヲ以テ整理スルモノトス
- 二 本簿ハ毎月其月分ノ合計ヲ朱記スルモノトス
- 三 本簿ハ一年度限調製スルモ數年度間繼續スルモ妨ケナシ
- 四 本簿ノ記載例ハ拾得品受拂簿ニ全シ

何々警察署(分署)

三百四十一

品目 賤拾置品	年月日	摘要	受			拂			現			
			數	量	價	數	量	價	數	量	價	

三百四十二

第三十五號書式(用紙半紙罫紙)

明治何年度何月中警察拾得品受拂表

何々警察署(分署)

品目	受			拂			差引		
	數	量	價	數	量	價	數	量	價
遺失物	、	、	、	、	、	、	、	、	、
	、	、	、	、	、	、	、	、	、
	、	、	、	、	、	、	、	、	、
	、	、	、	、	、	、	、	、	、
	、	、	、	、	、	、	、	、	、

右之通ニ有之候也

何々警察署(分署)

物品取扱委員 官 氏 名 印

年月日

物品會計官吏宛

三百四十三

第三十六號書式(用紙半紙罫紙)

明治何年度何月中賊捨置品受拂表

何々警察署(分署)

品目	越		高		拂		高		差引現在高	
	數	價	格	數	價	量	格	數	價	格
賊捨置品	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、

右之通ニ有之候也

年月日

何々警察署(分署)

物品取扱委員 官 氏 名 印

物品會計官吏宛

第三十七號書式(用紙半紙罫紙)

○部長、
認印

明治何年度何月中犯則ニ係ル沒收物品受拂表

何々郡役所

品名	越	高	數量	引收 總受 數ヨリ	賣却		亡失 數却	現在 數量
					數	價		
何々	一〇							九
何々			一〇〇					〇
何々			五					〇

右之通ニ有之候也

年月日

何々郡役所

物品取扱委員 官 氏 名 印

物品會計官吏宛

第三十八號書式(用紙半紙郵紙)

○課長印 明治何年度何月中郵便切手類受拂表

切手類種類	越	高	受	高	拂	高	殘	高
端書	、	、	、	、	、	、	、	、
往復端書	、	、	、	、	、	、	、	、
貳錢切手	、	、	、	、	、	、	、	、
何々	、	、	、	、	、	、	、	、
何々	、	、	、	、	、	、	、	、

右何月中受拂高書面之通ニ有之候也

年月日

何課(何々)

物品會計官吏宛

物品取扱委員官 氏 名 印

訓令第五十九號

明治二十九年十月十九日

明治二十七年二月訓令第八號愛知縣會計規則中左ノ通改正追加ス
第五十一條 三 物件ノ買入借入ノ下賣却ノ二字ヲ追加ス
全條 四ヲ左ノ如ク改ム

內務部 警察部 監獄署 郡市役所 警察署 警察分署 監獄支署
 縣立學校 縣立病院 農事試驗場 水產試驗場 博物館
 測候所 驛棧院 牛痘種繼所

四 特種ノ物品ヲ其生産製造者ヨリ直接ニ買入ル、トキ
全 條 四ノ次キニ左ノ三項ヲ追加シ以下順次繰下ク

五 特ニ其技術家ニ命スルニアラサレハ製造シ得ヘカラサル製造品及機械ヲ買入ル、トキ
六 内地ニ生産製造ノ場所若ハ生産者製造者ナキ物件ノ買入ヲ要スル場合ニ於テ競争ニ付シ難キ事
由アルトキ

七 内地ニ於テ生産製造スル物件ハ其用ヲ充タスニ足ラズシテ特ニ外國人ヨリ直接ニ買入ル、トキ
全 條 九(元ノ六)ヲ左ノ如ク改ム

九 一口金高五拾圓以内ノ工事及物件ノ買入借入又ハ額面千圓以内ノ公債証券ヲ買入ル、トキ
全 條 十(元ノ七)又ハ見積價格ノ下貳拾圓ヲ五拾圓ト改ム

全 條 十三(元ノ十)博物館陳列品ノ下又ハ以下ノ十六字ヲ削ル
全 條 十三ノ次キニ左ノ二項ヲ追加シ以下順次繰下ク

十四 耕耘若ハ馬車用ノ牛馬ヲ買入レ又ハ借入ル、トキ
十五 牛痘種繼用ノ牛牛ヲ買入借入又ハ賣戻約款付ノモノヲ賣拂フトキ

全 條 十六(元ノ十一)ノ次キニ左ノ一項ヲ追加シ以下順次繰下ク
十七 縣有公債証券其他物件ヲ政府ニ賣却若ハ政府ニ賣買ヲ委託スルノ必要アルトキ
全 條 十九(元ノ十三)食事賄ノ下方ノ一字ヲ削除シ及浴湯ノ供給ノ五字ヲ追加ス

訓令第六十號

明治二十九年十一月二日

郡市役所
町村役場

水利組合條例第十二條ニヨリ普通水利組合又ハ水害豫防組合規約ノ認可ヲ稟請スル場合ハ其區域ヲ精
覈圖面釐尺或萬分一前後ニ顯ハシ之ヲ添付スヘシ
但普通水利組合ニ於テハ區域調書ノ添付ヲ要ス尤モ假定ノ區域ニ異動ナキモノハ調書ノ添付ニ及ハ
ス候條其旨申立ツヘシ

訓令第六十二號

明治二十九年十一月十六日

郡市役所
町村役場

償還期限三年以内ノ市町村債ヲ起シタルキハ其金額利率及起債ノ年月日又償還ヲナシタルキハ其元利
金額利率及償還ノ年月日ヲ其都府市ハ當廳ニ町村ハ郡長ニ報告シ郡長ニ於テハ直チニ當廳ヘ報告スヘ
シ
但本項ノ市町村債ニシテ現在償還未了ノモノハ其金額利率起債年月日ヲ本月二十五日限報告スヘシ

訓令第六十三號

明治二十九年十一月二十四日

内務部
警察部
郡役所
警察署
全分署

明治二十九年十月訓令第五十八號本縣物品出納順序左之通改正ス
第十條 需用品ノ下及以下ノ十字ヲ削除ス

第十六條 四 賊捨置品ノ下沒收物品ノ四字ヲ削除ス
 第十九條ヲ削除シ以下順次繰上トス
 第十九條(元ノ第二十條)但ノ下第十九條ノ場合其他ノ九字ヲ削除ス
 第二十二條(元ノ第二十三條)該出張員ニ於テ直ニ取扱フヘシノ下此場合ニ於ケル手續ハ第十九條ニ準
 スヘシノ十九字ヲ削除シ左ノ一項ヲ追加ス
 前項但書ノ場合ニ於テハ該出張員ニ於テ品目數量及需用ノ事由ヲ詳記シタル請求書ヲ作り第四課ニ
 送附シ該物品ノ交付ヲ受ケタルトキハ直ニ領收証書ヲ差出スヘシ
 第二十六條(元ノ第二十七條)不用ニ屬シタル物品ノ下犯罪犯則ニ係ル沒收物品ニシテ毀損若ハ腐朽シ
 タルモノ、二十六字及全條事山ヲ詳記シタル報告書ヲ作り其毀損ノ下若ハ腐朽ノ四字ヲ削除ス
 第四十五條(元ノ第四十六條)七ヲ削除ス
 第四十九條(元ノ第五十條)三ヲ削除ス

訓令第六十五號

明治二十九年十二月四日

郡市役所
町村役場

明治三十年四月一日ヨリ實施スヘキ召集ノ準備事務ハ本年陸軍省令第二十四號陸軍召集條例施行細則
 發布ノ日ヨリ同細則ニ依リ取扱フヘシ

訓令第六十七號

明治二十九年十二月十四日

郡市役所
町村役場

明治二十九年四月四號登錄稅法施行手續第二條報告書式左ノ遞改正ス
 但舊書式ニ據リ報告濟ニ係ル稅法第十九條ノ免除件數ハ次回報告期ニ於テ稅法第十五條各號毎ニ取
 調別途報告スヘシ

明治何年度 稅法第十五條登錄稅報告表

種目	件數	貼用印紙額面金額	免除件數
一號			
二號			
三號			
四號			
五號			
六號			
計			

右報告候也

年月日

名古屋稅務管理局長宛

何市(町)長 氏

名印

備考

一 組合町村長ハ町村別ニ報告スヘシ

訓令第六十八號

明治二十九年十二月十四日

郡市役所

明治二十八年訓令第九十四號學事年報諸表樣式中乙號表三ヲ左ノ通り改正ス

乙號表

三 公立小學校教員俸給別表

種	月								俸	
	五圓未滿		五圓以上		六圓未滿		六圓以上			
	女	男	女	男	女	男	女	男		
尋常科	正教員									
	准教員									
	本									
高等科	正教員									
	准教員									
	本									
專科	正教員									
	准教員									
	本									
等科	正教員									
	准教員									
	本									
八圓未滿	女									
	男									
	女									

別

八圓以上		九圓未滿		九圓以上		十圓未滿		十圓以上		十一圓未滿		十一圓以上		十二圓未滿		十二圓以上		十三圓未滿		十三圓以上		十四圓未滿		十四圓以上		十五圓未滿			
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男		

人													
合計	四十圓以上		三十五圓未滿		三十圓以上		廿五圓未滿		二十圓以上		十五圓以上		
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	

年 末 月 俸 額 總 計	平 均 額		最 寡 月 額		最 多 月 額	
	女	男	女	男	女	男

訓令第六十九號

明治二十九年十二月二十一日

褒章條例ニ據リ褒賞稟申ノ後本人身上ニ就キ行賞上ニ關スル異動ヲ生シタルトキハ其都度追申スヘシ

訓令第七十號

明治二十九年十二月二十一日

郡市役所
警察署
警察分署
町村役場

明治二十三年十月訓令甲第三十號戸籍表中府縣内送籍他府縣送籍ノ項取調方自今左ノ内譯表ヲ調製セシメ精査ノ上該表式ニ倣ヒ總計表ヲ製シ第六表ニ添へ進達スヘシ

年報第六表送籍内譯表

何府	何縣	府名		何府	何縣	府名		何府	何縣	府名	
		男	女			男	女			男	女
他府縣ニ係ル	内譯	本年ノ送籍ニシテ入籍ノモノ	本年ノ送籍ニシテ入籍ノモノ	他郡市區ニ係ル	内譯	本年ノ送籍ニシテ入籍ノモノ	本年ノ送籍ニシテ入籍ノモノ	他町村ニ係ル	内譯	本年ノ送籍ニシテ入籍ノモノ	本年ノ送籍ニシテ入籍ノモノ
		前年ノ送籍ニシテ本年ノ送籍ニシテ入籍ノモノ	前年ノ送籍ニシテ本年ノ送籍ニシテ入籍ノモノ			前年ノ送籍ニシテ本年ノ送籍ニシテ入籍ノモノ	前年ノ送籍ニシテ本年ノ送籍ニシテ入籍ノモノ				
		前年以前ノ送籍ニシテ本年ノ送籍ニシテ入籍ノモノ	前年以前ノ送籍ニシテ本年ノ送籍ニシテ入籍ノモノ			前年以前ノ送籍ニシテ本年ノ送籍ニシテ入籍ノモノ	前年以前ノ送籍ニシテ本年ノ送籍ニシテ入籍ノモノ				
何郡	何市	何町	何村	何郡	何市	何町	何村	何郡	何市	何町	何村
合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計

合計	何府		何縣		合計	
	男	女	男	女	男	女
合計						
合計						
合計						

一 他府縣ニ係ル送籍又ハ入籍ノ項ニハ他府縣ニ送籍シ又他府縣ヨリ入籍シタル者ヲ記入スヘシ但送籍ハ本府縣ヨリ他府縣ニ送籍シ他府縣ヨリ入籍ノ通知ヲ本年又ハ翌年一月製表ノ時マテニ受ケテ除籍シタル者ノ數ヲ記入ス可シ

一 本年ノ送籍ニシテ入籍報知アリシモノ、項ニハ例ハ明治二十九年中送籍シ翌三十年一月製表ノ時マテニ入籍報知アリシモノ、數ヲ再掲ス可シ

一 前年以前ノ送籍ニシテ本年中入籍ノ報知アリシモノ、項ニハ例ハ明治二十八年中送籍シ二十九年一月製表ノ時マテニ入籍報知ナキ者ヲ製表以後除籍ヲ爲シ二十九年末調ニ於テ送籍ノ數ニ算入セシ者ノ數ヲ再掲ス可シ但前々年以前ニ係ルモノハ表尾ニ年號ト其ノ數ヲ記載スヘシ

一 本年ノ送籍ニシテ入籍報知ナキモノ、項ニハ例ハ明治二十九年中ノ送籍ニシテ翌三十年一月製表ノ時マテニ入籍報知ナキ者ノ數ヲ記入ス可シ但前年以前ニ係ルモノハ表尾ニ年號ト其ノ數ヲ記載スヘシ

一 府縣内他郡市區ニ送籍又ハ入籍ノ項ニハ府縣内ニ於テ本郡市區ヨリ他郡市區ニ送籍シ又他郡市區ヨ

リ入籍シタル者ヲ記入スヘシ
 一 郡内他町村へ送籍又ハ入籍ノ項ニハ郡内他町村へ送籍シ又他町村ヨリ入籍シタル數ヲ記入ス可シ
 訓令第七十一號
 明治二十九年十二月二十三日

郡市役所
 町村役場

家屋稅營業稅雜種稅取締規則補則ニ係ル取扱手續左ノ通相定メ明治三十年一月一日ヨリ施行ス但明治二十一年一月訓令乙第四號^取其他此手續ニ牴觸スル從前ノ規程ハ本訓令施行ノ日ヨリ廢止ス

家屋稅營業稅雜種稅取締規則補則ニ係ル取扱手續

第一條 取締規則補則第五條ニ依リ付與スヘキ鑑札ハ第一號ノ式ニ依リ又同條ニ依ル檢印ハ第二號ノ式ニ依リ馬車ハ腕木ノ右方人力車ハ楫木右方ノ外部荷積馬車及ヒ荷車ハ荷臺並ニ其副木ノ後部右方ニ烙印スヘシ

第二條 取締規則補則第一條第二條ニ依リ差出シタル届書ハ町村長ニ於テ取懸メ左ノ日限内ニ郡役所ニ差出スヘシ

- 一 第一條ニ依リ届出タルモノ 明治三十年二月十日限
- 一 第二條ニ依リ届出タルモノ 同 年一月十五日限

第三條 郡市長ハ課稅ノ物件ヲ檢査スヘシ

第四條 縣内他郡市へ船舶ノ定繫場ヲ移シタルモノアルトキハ郡市長ハ課稅ノ要件ヲ記載シ先方ノ郡市長へ通報スヘシ

第五條 取締規則補則第七條ニ依リ廢棄者ト爲シタルモノハ營業稅雜種稅彙帳ヨリ除去シ郡長ハ其旨町村長へ通報スヘシ

第六條 此手續ニ定ムルモノヲ除ク外縣稅ノ取締ニ關スル取扱手續ハ明治二十九年一月訓令第三號^{家屋稅}雜種稅^{營業稅}取締手續ヲ適用スヘシ

(第一號)

船鑑札
 木製 鑿曲尺五寸
 横同 三寸

明治何年 第何號 烙印 愛知縣 何郡市役所	定繫場 何縣何郡 何港 何海河岸 (日本形大船、西洋形船記載ノ例) 石數、噸數 船名 (何號) (小船記載ノ例) 何間 何船 (小廻船、遊船、解 漁船、耕作船、 水車用船ノ類)	住所 所有者 氏名
-----------------------------------	--	--------------

鑿曲尺一寸五分烙印
 横同 一寸
 (不課稅船ノミニ用ユ)

不課稅

(第二號)

車ノ檢印

愛知縣 何

郡市役所

明治三〇第一一五號

(不課稅者ノ例)

整曲尺一寸五分烙印
横同一寸

愛知縣

不課稅

明治三〇第一一六號

何郡市役所

備考

番號ハ車ノ類別毎ニ毎年一號ヨリ逐次其番號ヲ付スヘシ

年號、番號、數字ハ便宜打込印ニテモ妨ケナシ

年號、番號ノ印ハ荷積馬車、牛車、荷積車不課稅車トモトモニ限り付記スルモノトス

訓令第七十四號

明治二十九年十二月二十三日

郡市役所

縣令第六十八號ヲ以テ明治二十九年十月十二日遞信省令第二十五號船鑑札規則ニ關スル事項取扱ノ件分任候ニ就テハ其取扱手續左ノ通り之ヲ定ム

船鑑札規則ニ關スル事項取扱手續

第一條 郡市役所ハ船鑑札臺帳ヲ備置キ船鑑札規則ニ據リ船鑑札ヲ受有スル船舶ノ件名船鑑札ノ番號及其下付書換若クハ返納ノ年月日並ニ事由ヲ記載スヘシ

第二條 郡市役所ニ於テ船鑑札規則第二條ニ據リ件名書及下付申請書ヲ受理シタルトキハ其船舶ニ就キ尺度及積量ハ船舶積量測定規則ニ從ヒ公稱馬力ハ公稱馬力算定方法ニ從ヒ其他件名書ニ相違ナキヤ否ヲ審査シ不都合ナシト認ムルトキハ規則ノ雛形ニ準シ各事項ヲ記載シテ鑑札ヲ下付スヘシ但積量測定表ハ保存シテ後證ニ備フヘシ船鑑札ニ記載シタル尺度積量若クハ公稱馬力ニ變更ヲ生シ其書換ヲ申請シタルトキハ郡市役所ハ之ヲ審査シ必要ト認ムル場合ニハ其船舶ニ臨檢スヘシ

第三條 船鑑札ニ記載スル長幅深總噸數及公稱馬力ハ單位以下二位ヲ以テ限トス但長幅及深ハ尺ヲ以テ單位トス

第四條 船鑑札規則第五條第二項ニ據リ件名書ノ證明ヲ申請シタルトキハ郡市役所ハ之ヲ船鑑札臺帳ニ照致シ誤謬ナシト認ムルトキハ其旨ヲ記シタル書面ヲ添ヘ縣廳ヘ差出スヘシ

第五條 管内所轄郡市ヲ異ニスル定繫場變更ニ係ル船鑑札書換ヲ申請スルトキハ新所轄郡市役所ニ於テ書換ノ手續ヲ了シ直ニ其旨齎所轄郡市役所ニ通報スヘシ舊所轄郡市役所ニ於テ其通報ヲ受タルトキハ船鑑札臺帳ニ記載ノ事項ヲ速ニ回報スヘシ

第六條 郡市役所ハ毎年一月廿日及七月廿日附錄書式ニ從ヒ前六ヶ月間ノ船舶ノ異動ヲ縣廳ニ報告スヘシ

(附錄書式)

船舶報告 自明治二十九年(一)七月 至明治三十年(六)十二月 第一 新ニ船鑑札ヲ下付シタル船舶 西洋形船舶

船鑑札下付年月日	船鑑札下付事由(原名)	船名	定繋場	船質	橋	數	尺度		總噸數	登録	公稱	製造地名	製造	造船工長氏名	所有者住所氏名
							長	幅		深	噸數		馬力		

計、艘

日本形船舶

船鑑札下付年月日	船鑑札下付事由(原名)	船名	定繋場	橋	數	積石數	製造地名	製造年月	造船工長氏名	所有者住所氏名

計、艘

第二船鑑札ヲ書換下付シタル船舶

船ノ種類	船名	船鑑札書換年月日	船鑑札書換事由	所有者氏名

計、艘

第三船鑑札ヲ返納シタル船舶

船ノ種類	船名	船鑑札返納年月日	船鑑札返納事由	所有者氏名

計、艘

備考

一 船鑑札下付事由ノ欄内ニハ新造、外國船購入若クハ管轄官廳ノ變更等船鑑札ヲ下付シタル原因ヲ記載シ且管轄官廳ノ變更ニ係ルトキハ舊管轄官廳名ヲ記載スルヲ要ス

一 船鑑札書換事由ノ欄ニハ書換ニ係ル新舊船鑑札面ノ事項且所有者ノ變更ニ係ルトキハ新所有者ノ住所氏名ヲ記載スルヲ要ス

一 船鑑札ヲ再授スルニ當リ其書換之ニ伴フトキハ第二表ニ編入スヘシ

一 船舶ノ製造地名、製造年月若クハ造船工長氏名明ナラサルトキハ其欄内ニ不詳ト記載スヘシ

訓令第七十五號

明治二十九年十二月二十三日

郡市役所

明治二十九年遞信省令第二十五號船鑑札規則ニ準據スヘキ船舶ハ明治三十年四月三十日マテニ左ノ書式ニ從ヒ縣廳へ報告スヘシ

(書式)

明治二十九年十二月三十一日現在船舶表
第一 西洋形船舶

船名 (原名)	定製所	船種	噸數	尺		總噸數	登源噸數	公稱馬力	製造地名	製造年月	造船工長氏名	所有者住所氏名
				長	深							

計、艘
第二 日本形船舶

船名 (原名)	定製所	船種	積石數	製造地名	製造年月	造船工長氏名	所有者住所氏名
------------	-----	----	-----	------	------	--------	---------

計、艘
備考

一船舶ノ橋敷、製造地名、製造年月若クハ造船工長氏名明ナラサルトキハ其欄内ニ不詳ト記載スヘシ
訓令第七十六號
明治二十九年十二月二十八日

内務部
警察部

- 監獄署
- 郡市役所
- 警察署
- 警察分署
- 監獄支署
- 縣立學校
- 縣立病院
- 農事試驗場
- 博物試驗場
- 水産試驗場
- 驅煤院
- 牛痘種織所
- 測候所

明治二十八年訓令第八十八號工事受負及物件賣買貸借修繕規程左ノ通改正ス
 第二條 二 參拾圓トアルヲ五拾圓ト改ム
 全條 三 見積價格ノ下貳拾圓トアルヲ五拾圓ト改ム
 第三十二條 第三乃至ノ下第五第八乃至第十四トアルヲ第八第十一乃至第二十ト改ム
 第四十九條 一 會計規則第五十一條第三ノ下第六第九第十第十三第十四トアルヲ第九第十二第十三第十五第十九第二十ト改ム
 全條 二 會計規則第五十一條ノ下第七トアルヲ第十ト改ム

第五十條 會計規則第五十一條ノ下第十四トアルヲ第二十ト改ム

訓令第七十七號

明治二十九年十二月二十八日

郡市役所
警察署
全分署
町村役場

近來東京兵庫大坂福岡及沖繩等ノ各地ニ流行セル痘瘡ハ益其勢ヲ逞フシ中國四國亦漸ク流行ヲ見ルニ至レル趣就テハ本縣ノ如キ海陸トモ各地交通ニ至便ナル瀛車瀛船ノ往來頻繁ナルカ故ニ何時病毒傳輸スルヤモ難計ニ付此際種痘ノ普及ニ怠ラサルハ勿論ノ義ナルモ萬一痘瘡患者發生シタル場合ニ於テハ之カ豫防消毒法ヲ嚴守セシムルニアラザレハ其全効ヲ收ムルコト難キニ依リ明治二十四年八月縣令第四十六號傳染病豫防心得書第六章ノ各條ヲ履行シ種痘ノ普及ト同時ニ消毒法ノ施行ヲ嚴重ナラシムヘシ訓令第七十八號

明治二十九年十二月二十八日

郡市役所

告示第百六十三號

海軍志願兵徵募規則ニ依リ同兵役ヲ志願スル者ノ願書ヲ受ケタルキハ成規ニ適合スルヤ否ヲ審査シ左ノ書式ニ依リ志願者調査表ヲ製シ本人ノ願書ト共ニ毎年二月五日迄ニ當廳ヘ差出可シ

但明治二十二年八月訓令乙第五十一號海軍志願兵徵募規則ハ廢止ス

海軍兵役志願者調査表

某郡市長

町村名	希望兵種	規則第四條ニ 觸ルヤ否	族職業	戸主ノ身續	姓名	生年月日	家族 父母兄弟等
某町村	何兵	觸ル、トナシ	平民	何々	某長男	何	某
							明治何年何月日

計何人

前記逐番査候處相違無之候也

年月日

知事宛

郡市長

諭達

諭達第二號

明治二十九年六月三日

現今各府縣下ニ於テ流行スル再歸熱追々蔓延ノ狀況ナル處右ハ一種ノ急性傳染性疾患ニシテ其傳染ノ徑路間々不明ニ屬スルモノアリト雖モ輒近ノ狀態ヨリ推考スルニ直接感染スルモノ最モ多キニ似タリ抑モ本病ハ主トシテ不潔汚穢ナル部落又ハ工場、寄宿舎、監獄等多人數群居スル場所ニ初發シ而シテ該病ノ症狀ヲ概言スレハ其多數ハ俄カニ惡寒戰慄シ或ハ數度ノ惡寒ヲ以テ始マリ尋テ發熱シ忽チ高度ニ騰リ劇烈ナル顯顯部搏動頭痛ヲ訴ヘ眩暈腰痛等ノ諸症ヲ發シ高熱稽留スルコト數日間ニシテ後チ俄カニ分利シテ平温以下ニ降り全ク免熱スト雖モ又數日ニシテ初發ニ於ケルカ如ク發熱スルヲ例トス之レヲ豫防スルニハ病者ト健康者ヲ隔離シ消毒法ヲ嚴行スルニ加カス故ニ該病家ト交通ヲ絶ツハ勿論此際家屋ノ内外ハ常ニ掃除シ身体、衣服、臥具等ハ極メテ清潔ナラシメ堅ク暴飲暴食ヲ慎ミ若シ熱性病ニ罹

訓令第二十九號參看

リタルトキハ速ニ醫療ヲ受クル等怠リナク各自精々攝生ニ注意スヘシ

諭達第三號

明治二十九年九月十五日

去月以來暴風烈雨ノ災害荐リニ至リ旧畑家屋ノ浸水人畜ノ死傷等其慘害ヲ極メタリ抑モ一タヒ洪水ノ災ヲ被ルヤ濁流大地ヲ没シ人家ヲ浸シ山野田園等ヨリハ種々不潔物ヲ流シ溝渠圃園等不潔ノ場所ヨリハ無數ノ汚穢物ヲ浚ヘ來リ凡百ノ汚物ハ悉ク之レチ一面ノ平地ニ撒漫スルカ故ニ數日ヲ經テ殘暑炎熱ノ爲メニ其水分ハ漸々蒸發シ其土地ノ汚物ノ浸淫スル所トナリ延テ飲料水ノ源泉ヲ汚濁シ地上ニ存在スル動植物質ハ腐敗シテ遂ニ傳染病毒ヲ醸成スルノ媒介トナリ懼ルヘキ病災ヲ來タルモノニシテ古來洪水ノ後傳染病就中腸室扶斯赤痢等ノ流行ヲ致セシ實例甚々多シトス依テ此際水災後ノ衛生ニ注意シ清潔法ヲ嚴行スルハ目下ノ緊急事業ニ付爰ニ該清潔法並ニ各自ノ攝生法等ヲ左ニ掲ク須ク急速施行シ以テ後害ヲ未萌ニ防遏スヘシ

水災後土地家屋ノ清潔法

- 一 屋傍ノ地面又ハ溝渠ノ殘水ハ速ニ疏通セシメ其沈澱シタル汚泥塵芥ヲ掻キ取り其跡ニ石灰ヲ治ク撒布スヘシ
- 一 床下ニ溜溜セル水ニ現ニ不潔物ヲ認メサルモ凡テ有害ノモノナルニ由リ之ヲ汲出シ其下ノ泥土ヲ掻キ取りタル上石灰ヲ撒布スヘシ
- 一 前二項ニ由リ掻キ取りタル汚泥塵芥等ノ不燃質物ハ遠ク之ヲ安全ノ地ニ棄ツルカ又ハ海中ニ投棄スヘシ
- 一 街路庭園等ニ存在セル種々動植物性ノ廢棄物ハ之ヲ收集メ燒棄スヘシ
- 一 壁柱其他水ニ浸サレタル部分ハ石炭酸水(二十倍)又ハ生石灰乳(十倍)ヲ以テ之ヲ拭淨シ浸水セサ

ル部分ハ清水又ハ沸湯ヲ以テ洗滌スヘシ

- 一 浸水セシ床板ハ必ス剝離シテ之ヲ洗滌シ次ニ石炭酸水石灰乳等ニシテ消毒シ粗塗^{アラシイ}ノモノハ成ルヘク塗り替フヘシ
 - 一 床板ヲ剝シタル後其椽縁及ヒ床下ノ塵芥ハ之ヲ一集メ家屋内ニ於テ燒棄ツヘシ是レ一ハ家屋ヲ乾シ一ハ他ノ塵芥ヲモ一同ニ燒キ盡スノ便益アリトス
 - 一 家屋内ノ洗拭終ラハ窓戶ヲ殘ラス開放シ專ラ大氣ノ流通ヲ促シ又ハ火力ヲ借リテ乾燥セシムヘシ
 - 一 井水ハ必ス汚染スルカ故ニ第一若手トシテ浚漉スヘシ
 - 一 但井中ヲ浚漉スル前ニ必ス其周圍ノ不潔場所ヲ掃除シ清潔法ヲ行フヘシ
 - 一 井水ハ浚漉ノ後ト雖モ清澄ニシテ無臭且不快ノ味ナキニ至リテ飲ニ供スヘシ
 - 一 但當分ノ内ハ必ス煮沸シテ之ヲ用ヒ決シテ生水ノ僅飲用スヘカラス
- 假小屋ニ在間ノ攝生法
- 一 假小屋内ニ在ル時ハ成ルヘク多人數同宿スヘカラス
 - 一 敷物ヲ厚クシ土地ノ濕氣ノ身体ニ及ハサル様注意スヘシ
 - 一 濕潤シタル衣服夜具等ハ乾燥シタル後ニアラサレハ之ヲ着用スヘカラス
 - 一 病者ヲ生シタル時ハ速ニ醫療ヲ請フヘシ若シ傳染病ナルトキハ速カニ之ヲ別所ニ移シ健康者ト同宿セシムヘカラス
 - 一 身体ハ必ス温包シ食物ハ一々表テ食スヘシ

明治三十年四月八日印刷
明治三十年四月十三日發行

不發賣

愛知縣

名古屋市本町九番所
新愛知印刷合資會社

印刷者

丹羽辰之丞

千々+A-26

100



